

府中学園（後期課程）体育館空調設備設置工事

[illegible]

5

1

改修工法

[5. 1. 3]

建具の種類

かぎせ工法

撤去工法

適用箇所

・アルミ製建具

・

・

※ 建具表による

・

・樹脂製建具

・

・

※ 建具表による

・

・鋼製建具

・外部

・

※ 建具表による

・

・

・内部

・

※ 建具表による

・

・鋼製軽量建具

・

・

※ 建具表による

・

・ステンレス製建具

・

・

※ 建具表による

・

新規に建具を設ける場合

壁部分の開口の開け方

※ 図示

新規建具周囲の補修工法及び範囲

※ 図示

・

2

防火戸

・適用する

指定箇所（

・ 建具表による

・

）

[5. 1. 4]

防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸とヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動

※ 連動させる

適用箇所（

・ 建具表による

・

）

・連動させない

3

見本の製作等

建具見本の製作

・ 行う（建具符号：

）

・行わない

[5. 1. 5]

特殊な建具の仮組

・ 行う（建具符号：

）

・行わない

4

防犯建物部品

・適用する

適用箇所（

※ 建具表による

・

）

[5. 1. 7]

5

アルミニウム製建具

性能値等

[5. 2. 2～5] [表 5. 2. 2]

・耐風圧性の等級（

）

・気密性の等級（

）

・水密性の等級（

）

※ 改修標準仕様書表5.2.1による種類

外部に面する建具の種類別

・A種（建具符号：・全て

・建具表による

・

）

・B種（建具符号：・全て

・建具表による

・

）

・C種（建具符号：・全て

・建具表による

・

）

防音ドア、防音サッシ

遮音性の等級（

）

（建具符号：・建具表による

・

）

断熱ドア、断熱サッシ

断熱性の等級（

）

（建具符号：・建具表による

・

）

耐震性能

建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による

ステンレス鋼板の材料

※ SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1

形状及び仕上げ

枠の見込み寸法

※ 建具表による

・

表面処理

外部に面する建具

種類

・BB-1種

・BB-2種

・

色合等

※ 標準色（

）

・特注色（

）

屋内の建具

種類

・BC-1種

・BC-2種

・

色合等

※ 標準色（

）

・特注色（

）

結露水の処理方法

※ 図示

・

取付工法

水切り板、ざん板

※ 図示

・

木下地の場合の内付け建具

・適用しない

・適用する

6

網戸等

種類

材質

線径

網目

・防虫網

※ 合成樹脂製

・ ガラス繊維入り合成樹脂製

・ ステンレス（SUS316）製

※ 16～18メッシュ

・防鳥網

ステンレス（SUS304）線材

1.5mm

網目寸法15mm

[5. 2. 3] [5. 3. 3]

7

樹脂製建具

性能値等

[5. 2. 2] [5. 3. 2～5]

・耐風圧性の等級（

）

・気密性の等級（

）

・水密性の等級（

）

※ 改修標準仕様書表5.3.1による種類

外部に面する建具

A種（建具符号：・全て

・建具表による

・

）

・B種（建具符号：・全て

・建具表による

・

）

・C種（建具符号：・全て

・建具表による

・

）

防音ドア、防音サッシの遮音性の等級

・T-1

・T-2

（建具符号：・建具表による

・

）

断熱ドア、断熱サッシの断熱性の等級

・H-4

・H-5

・H-6

・H-7

・H-8

（建具符号：・建具表による

・

）

外部に面する建具の日射取得性の等級

形状及び仕上げ

枠の見込み寸法

※ 建具表による

・

表面色

※標準色

・特注色

取付工法

水切り板、ざん板

※ 図示

・

木下地の場合の内付け建具

・適用しない

・適用する

ガラス

※ 複層ガラス

・

8

鋼製建具

性能値等（建具符号：・建具表による

・

）

[5. 2. 2] [5. 4. 2～4] [表 5. 4. 2]

簡易気密型ドアセット

気密性の等級

・A-3

水密性の等級

・W-1

外部に面する面する建具の耐風圧性

・S-4

・S-5

・S-6

防音ドア、防音サッシ

遮音性の等級（

）

断熱ドア、断熱サッシ

断熱性の等級（

）

耐震ドア

面内変形追従性の等級（

）

耐震性能

建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による

ステンレス鋼板の材料

※ SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1

くつずりの仕上げ

ステンレス鋼板を用いる場合

※ HL以上

形状及び仕上げ

鋼板類の厚さ

※ 改修標準仕様書表5.4.2による

・

使用箇所（

）

標準型鋼製建具の形状及び寸法

※ 建具表による

9

鋼製軽量建具

性能値等（建具符号：・建具表による

・

）

[5. 2. 2] [5. 6. 2～4]

簡易気密型ドアセット

・適用する

防音ドア、防音サッシ

遮音性の等級（

）

断熱ドア、断熱サッシ

断熱性の等級（

）

耐震ドア

面内変形追従性の等級（

）

耐震性能

建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による

鋼板の材料

※ 亜鉛めっき鋼板

・ビニル被覆鋼板

・カラー鋼板

・ステンレス鋼板

ステンレス鋼板の材料

※ SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1

形状及び仕上げ

鋼板類の厚さ

※ 改修標準仕様書表5.5.1による

使用箇所（

）

召合せ、縦小口包み板の材質

※ 鋼板

標準型鋼製建具の形状及び寸法

※ 建具表による

10

ステンレス製建具

性能値等（建具符号：・建具表による

・

）

[5. 2. 2] [5. 4. 2] [5. 6. 2～5]

簡易気密型ドアセット

・適用する

外部に面する面する建具の耐風圧性

・S-4

・S-5

・S-6

防音ドア、防音サッシ

遮音性の等級（

）

断熱ドア、断熱サッシ

断熱性の等級（

）

耐震ドア

面内変形追従性の等級（

）

耐震性能

建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による

ステンレス鋼板の材料

※ SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1

くつずりの仕上げ

ステンレス鋼板を用いる場合

※ HL以上

形状及び仕上げ

鋼板類の厚さ

※ 改修標準仕様書表5.4.2による

・

使用箇所（

）

金物の種類及び見え掛り部の材質等

※ 改修標準仕様書表5.8.1及び適用は建具表による

・

金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ

※ 改修標準仕様書表5.8.2による

・

樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ

※ 標準仕様書表5.8.3による

・

木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ

※ 標準仕様書表5.8.4による

・

木製建具に使用する戸革及びレール

※標準仕様書表5.8.5による

・

握り玉及びレバーハンドル、押板類、クレセントの取付け位置

※ 建具表による

・

錠前類

【シリダ箱錠及びシリダ箱締めり錠】

（品質）

デッドボルトの寸法は17mm以上とする。

鍵付きのものはマスターキー、グランドマスターキー、コンストラクションキーなどのキシシステムが構築できるものとする。

（性能）

＜使用頻度による性能＞

1)（シリダ箱錠のみ）ラッチボルトの開閉繰り返し試験（40万回）を行った後、ハンドルでの開閉操作力及びラッチング力が試験前の2倍未満であり、かつ、ハンドルでの開閉操作およびラッチング動作に支障がない。

2) キーによるデッドボルトの施錠解錠繰り返し試験（10万回）を行った後、試験前の回転トルクの2倍未満であり、施錠解錠操作に支障がなく、かつ、確実に施錠状態が維持されている。

3) キーによる施錠機構の施錠解錠繰り返し試験（10万回）を行なった後、試験前の回転トルクの2倍未満であり、施錠解錠操作に支障がない。

4) キーの抜き差し繰り返し試験（10万回）を行なった後、キーの抜き差しに要する荷重は10N以下である。また、未使用の合鍵でシリダが回転でき、かつ、1箇所1段差浅い刻みをもつ異なるキーでは、シリダが回転しないこと。（キーに加えるトルクは、150N・cmとする）

＜外力に対する性能＞

1) デッドボルトの押込み強度試験（10KN）を行なった後、荷重を除いたときのデッドボルトの寸法は8mm以上であること。

2) デッドボルトの側圧強度試験（10KN）を行なった際、加圧板がデッドボルトを通過しないこと。

3) デッドボルトの押込み強度（衝撃荷重）試験（58.8J）の衝撃荷重を加えたとき、解錠状態（デッドボルトの突出量が8mm未満）にならないこと。

4) デッドボルトの側圧強度（衝撃荷重）試験（58.5J）の衝撃荷重を加えたとき、解錠状態（加圧板がデッドボルトを通過した状態）にならないこと。

5)（シリダ箱締めり錠はグレード3以上の彫込錠の場合）ストライクプレートの厚さ1.5mm以上のステンレス鋼製とし、ストライクは厚さ1.6mm以上の鋼製の一体絞りとする。又はストライクの強度と同等以上の強度をもつものとする。

＜使用頻の質量に対する性能＞

（シリダ箱錠のみ）

ラッチボルトの側圧強度試験（4KN）を行い、荷重を除いたとき、ハンドル操作及びラッチングに支障がない。

＜ハンドルの強度（シリダ箱錠のみ）＞

1) レバーハンドルのねじり強度試験（3.5KN・cm）を行なった後、トルクを除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施錠操作に支障がない。

2) 握り玉のねじり強度試験（3KN・cm）を行なった後、トルクを除いたとき、握り玉が正常に作動していること。また、施錠時握り玉が固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施錠操作に支障がない。

3) ハンドルの引張強度試験（2KN）を行い、荷重を除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施錠操作に支障がない。

4) ハンドルの垂直荷重強度試験（2KN）を行い、荷重を除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施錠操作に支障がない。

＜鍵違い＞

1) 鍵違い数は、1.5万以上とする。ただし、異なるキーウェイ形状であっても、共通のキーセクションが存在する場合は、有効かぎ（鍵）違い数とみなさないものとする。

2) 同一タンブラーの使用数は、60％以下とする。また、6本タンブラーにおいては、キーの同一組みは、最大2連続までとしていること。

試験方法は、JIS A 1541-1（建築金物一般―第1部：試験方法）による。

【レバーハンドル】

（性能）

＜ねじり強度＞

レバーハンドルのねじり強度試験（3.5KN・cm）を行なった後、トルクを除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施錠操作に支障がないこと。

＜垂直荷重強度＞

ハンドルの垂直荷重強度試験（2KN）を行い、荷重を除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施錠操作に支障がないこと。

試験方法は、JIS A 1541-1（建築金物一般―第1部：試験方法）による。

11

建具用金物

性能値等（建具符号：・建具表による

・

）

[5. 2. 2] [5. 4. 2] [5. 6. 2～5]

簡易気密型ドアセット

・適用する

外部に面する面する建具の耐風圧性

・S-4

・S-5

・S-6

防音ドア、防音サッシ

遮音性の等級（

）

断熱ドア、断熱サッシ

断熱性の等級（

）

耐震ドア

面内変形追従性の等級（

）

耐震性能

建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による

ステンレス鋼板の材料

※ SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1

くつずりの仕上げ

ステンレス鋼板を用いる場合

※ HL以上

形状及び仕上げ

鋼板類の厚さ

※ 改修標準仕様書表5.4.2による

・

使用箇所（

）

金物の種類及び見え掛り部の材質等

※ 改修標準仕様書表5.8.1及び適用は建具表による

・

金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ

※ 改修標準仕様書表5.8.2による

・

樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ

※ 標準仕様書表5.8.3による

・

木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ

※ 標準仕様書表5.8.4による

・

木製建具に使用する戸革及びレール

※標準仕様書表5.8.5による

・

握り玉及びレバーハンドル、押板類、クレセントの取付け位置

※ 建具表による

・

錠前類

【シリダ箱錠及びシリダ箱締めり錠】

（品質）

デッドボルトの寸法は17mm以上とする。

鍵付きのものはマスターキー、グランドマスターキー、コンストラクションキーなどのキシシステムが構築できるものとする。

（性能）

＜使用頻度による性能＞

1)（シリダ箱錠のみ）ラッチボルトの開閉繰り返し試験（40万回）を行った後、ハンドルでの開閉操作力及びラッチング力が試験前の2倍未満であり、かつ、ハンドルでの開閉操作およびラッチング動作に支障がない。

2) キーによるデッドボルトの施錠解錠繰り返し試験（10万回）を行った後、試験前の回転トルクの2倍未満であり、施錠解錠操作に支障がなく、かつ、確実に施錠状態が維持されている。

3) キーによる施錠機構の施錠解錠繰り返し試験（10万回）を行なった後、試験前の回転トルクの2倍未満であり、施錠解錠操作に支障がない。

4) キーの抜き差し繰り返し試験（10万回）を行なった後、キーの抜き差しに要する荷重は10N以下である。また、未使用の合鍵でシリダが回転でき、かつ、1箇所1段差浅い刻みをもつ異なるキーでは、シリダが回転しないこと。（キーに加えるトルクは、150N・cmとする）

＜外力に対する性能＞

1) デッドボルトの押込み強度試験（10KN）を行なった後、荷重を除いたときのデッドボルトの寸法は8mm以上であること。

2) デッドボルトの側圧強度試験（10KN）を行なった際、加圧板がデッドボルトを通過しないこと。

3) デッドボルトの押込み強度（衝撃荷重）試験（58.8J）の衝撃荷重を加えたとき、解錠状態（デッドボルトの突出量が8mm未満）にならないこと。

4) デッドボルトの側圧強度（衝撃荷重）試験（58.5J）の衝撃荷重を加えたとき、解錠状態（加圧板がデッドボルトを通過した状態）にならないこと。

5)（シリダ箱締めり錠はグレード3以上の彫込錠の場合）ストライクプレートの厚さ1.5mm以上のステンレス鋼製とし、ストライクは厚さ1.6mm以上の鋼製の一体絞りとする。又はストライクの強度と同等以上の強度をもつものとする。

＜使用頻の質量に対する性能＞

（シリダ箱錠のみ）

ラッチボルトの側圧強度試験（4KN）を行い、荷重を除いたとき、ハンドル操作及びラッチングに支障がない。

＜ハンドルの強度（シリダ箱錠のみ）＞

1) レバーハンドルのねじり強度試験（3.5KN・cm）を行なった後、トルクを除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施錠操作に支障がない。

2) 握り玉のねじり強度試験（3KN・cm）を行なった後、トルクを除いたとき、握り玉が正常に作動していること。また、施錠時握り玉が固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施錠操作に支障がない。

3) ハンドルの引張強度試験（2KN）を行い、荷重を除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施錠操作に支障がない。

4) ハンドルの垂直荷重強度試験（2KN）を行い、荷重を除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施錠操作に支障がない。

＜鍵違い＞

1) 鍵違い数は、1.5万以上とする。ただし、異なるキーウェイ形状であっても、共通のキーセクションが存在する場合は、有効かぎ（鍵）違い数とみなさないものとする。

2) 同一タンブラーの使用数は、60％以下とする。また、6本タンブラーにおいては、キーの同一組みは、最大2連続までとしていること。

試験方法は、JIS A 1541-1（建築金物一般―第1部：試験方法）による。

【レバーハンドル】

（性能）

＜ねじり強度＞

レバーハンドルのねじり強度試験（3.5KN・cm）を行なった後、トルクを除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施錠操作に支障がないこと。

＜垂直荷重強度＞

ハンドルの垂直荷重強度試験（2KN）を行い、荷重を除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施錠操作に支障がないこと。

試験方法は、JIS A 1541-1（建築金物一般―第1部：試験方法）による。

12

錠

マスターキー

※ 製作する（

組）

・製作しない

○ 既存に組込む

鍵の製作本数

※ 各室3本1組（室名を付し）

・

鍵箱

・ 設ける（

個用 組）

・ 設けない

[5. 8. 4]

13

自動ドア開閉装置

引き戸用駆動装置

性能

・

※ 改修標準仕様書表5.9.1による

種類

・SSLD-1

・SSLD-2

・DSL-D-1

・DSL-D-2

車椅子使用者用便所出入口引き戸用駆動装置

性能

※ 改修標準仕様書表5.9.2による

引き戸用検出装置の種類及び必要性能項目

引き戸用検出装置

性能

※ 改修標準仕様書表5.9.3による

種類

・光線（反射）センサー

・熱線センサー

・音波センサー

・光電センサー

・電波センサー

・タッチスイッチ

・押しボタンスイッチ

タッチスイッチの種類

・無線式タッチスイッチ

・光線式タッチスイッチ

車椅子使用者用便所スイッチの種類

・大型（開・閉）押しボタンスイッチ

・非接触スイッチ

戸の開閉方式

※ 建具表による

・

防錆

・適用する

・適用しない

凍結防止措置

・適用する

・適用しない

[5. 9. 2、3]

14

自閉式上吊り引戸装置

性能値等

※ 標準仕様書表5.10.1による

[5. 10. 3]

（試験方法）

（1）耐久性（開閉繰り返し）試験

閉については外力によらず、試験体の自閉装置及び制御装置のみにより戸を開端位置から開端位置までの動作を確認できる試験を行う。開試験に用いる試験体は片引戸とし、開口内法有効高さ2,000mm、幅は最大寸法とする。適用戸総質量の区分毎に試験を行う。自閉装置、制御装置は10万回以上の時点まで1回の調整を行えるものとし、また、その他の制御装置についてはメーカーの耐久性試験成績書において2万回以上の耐久性を確認することで、試験に代えることができるものとする。

（2）耐衝撃性試験

落下高さ17cmにて、ドアの中央部にドアが外れる方向に衝撃を与える。

耐衝撃性試験に用いる試験体は片引戸、開口内法有効寸法は高さ2,000mm、幅900mmとする。

適用戸総質量の区分毎に試験を行う。

（3）気密性試験

JIS A 1516「建具の気密性試験方法」による。

15

重量シャッター

シャッターの種類

・管理用シャッター

・外装用防火シャッター

・屋内用防火シャッター

・防煙シャッター

外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度（

）Pa

開閉方式の種類

※ 電動式（手動併用）

・手動式

安全装置

急降下制動装置、急降下停止装置を設けた電動シャッターの設置箇所

※ 図示

・

障害物感知装置を設けた電動シャッターの設置箇所

※ 図示

・

屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止機構の設置箇所

※「防火区分に用いる防火設備等の構造方法を定める件」（昭和48年12月28日建設省告示第2563号）に定める基準に適合するもの

・

管理用シャッターのシャッターケース

・設ける

・設けない

スラット及びシャッターケース用鋼板

鋼板の種類

※ JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）

・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）

めっきの付着量

※ Z12又はF12を満足するもの

・

めっきの付着量

※ Z12又はF12を満足するもの

・

ガイドレール、まぐさ、雨掛りに用いる座板及び座板のカバー、雨掛りに用いるスイッチボックス類のふたの材質

ステンレス鋼板の材料

※ SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1

・

座板の材質（屋外の場合）

※ ステンレス製既製品

・

[5. 11. 2. 2～3]

16

軽量シャッター

開閉方式の種類

※ 手動式

・電動式（手動併用）

耐風圧強度（

）N/m²

安全装置

障害物感知装置を設けた電動シャッターの設置箇所

※ 図示

・

スラットの材質の種類

※ JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）

めっきの付着量

（※ Z06 又はF06を満足するもの

・

）

・JIS G 3312（塗装溶融65％アルミニウム亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯）

めっきの付着量

（※ AL90を満足するもの

・

）

スラットの形状

※ インターロック形状

・オーバーラッピング形状

・

シャッターケース

※ 設ける

・設けない

ガイドレール（中柱共）の材質

※ ステンレス鋼板（SUS304）

厚さ1.0mm

・

座板の材質（屋外の場合）

※ ステンレス製既製品

・

[5. 12. 2～4]

17

オーバーヘッドドア

セクション材料

による区分

耐風圧性能

区分

開閉方式

による区分

収納方式

による区分

ガイドレールの材料

※スチールタイプ

・アルミニウムタイプ

・ファイバークラスタイプ

・125

・100

・75

・50

※バルナス式

・チェーン式

・電動式

・スタンダード形

・ローヘッド形

・ハイルフト形

・バーカル形

※溶融亜鉛めっき鋼板

※ステンレス鋼板

電動式タイプで障害物感知装置を設ける箇所

※ 図示

・

[5. 7. 2～4]

18

木製建具

建具材の加工、組立時の含水率

※ A種

・

建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量

※ F☆☆☆☆

・

フラッシュ戸

表面材のホルムアルデヒド放散量等

※標準仕様書16.7.2(2)(4) (a) による

表面材の合板の品質等

合板の種類

規格等

備考

・普通合板

表面の樹脂

生地、透明塗料塗り

（※ ラウソ合板程度

・

）

不透明塗料塗り

（※ しな合板程度

・

）

板面の品質

※ 広葉樹1等

・

接合の程度

（・1類

・2類

）

・天然木化粧合板

樹脂名（

）

接合の程度

（・1類

・2類

）

・特殊加工化粧合板

化粧加工の方法

（・オーバーレイ

・プリント

・塗装）

表面性能（

）タイプ

接合の程度

（・1類

・2類

）

・ミディアムデンシティ

表裏面の状態による区分（

）

ファイバーボード

曲げ強さによる区分（

）

（MDF）

接着剤による区分（

）

難燃性による区分（

）

表面板の厚さ

※改修標準仕様書表5.7.6による

・

引戸の召合せかまちのいんろう付きの適用

・適用する

・適用しない

・かまち戸

かまち樹脂（

）

鏡板樹脂（

）

見込み寸法

※ 建具表による

・

ふすま

張りの種類（・I型

・II型）

上張り（押入等の裏側以外）

・鳥の子

・新鳥の子又はビニル紙程度

縁仕上げ

・塗り縁

・生地縁（素地）

・生地縁（ウレタンクリアー塗装）

見込み寸法

※ 建具表による

・

戸ぶすま

見込み寸法

※ 建具表による

・

紙張り障子

見込み寸法

※ 建具表による

・

枠の材料

※ 木製枠（6章内装改修工事による）

・鋼製枠（※亜鉛めっき鋼板

・ビニル被覆鋼板

・カラー鋼板

・ステンレス鋼板）

くつずりの材料

・ステンレス鋼板

・木製

9	環境配慮改修工事	1	石綿含有建材の除去工事	〔9. 1. 1、3～5〕 ・ 石綿粉じん濃度測定 測定時期、場所及び測定点 <table><tr><th>適用</th><th>測定名称</th><th>測定時期</th><th>測定場所</th><th>測定点（各施工箇所ごと）</th></tr><tr><td rowspan="2">・</td><td rowspan="2">測定1</td><td rowspan="2">処理作業前</td><td rowspan="2">処理作業室内</td><td>・ 計点</td></tr><tr><td>調査対象室外部の付近</td></tr><tr><td rowspan="2">・</td><td rowspan="2">測定2</td><td rowspan="2">処理作業中</td><td rowspan="2">処理作業室内</td><td>・ 計点</td></tr><tr><td>セキュリティゾーン入口</td></tr><tr><td rowspan="2">※</td><td rowspan="2">測定4</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">集じん・排気装置の排出口（処理作業室外の場合）</td><td>出口吹出し風速1m／s以下</td></tr><tr><td>の位置</td></tr><tr><td rowspan="2">※</td><td rowspan="2">測定5</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">処理作業室外</td><td>・ 計点</td></tr><tr><td>・ 施工区画周辺</td></tr><tr><td rowspan="2">※</td><td rowspan="2">測定6</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">処理作業室内</td><td>・ 計点</td></tr><tr><td>（シート養生中）</td></tr><tr><td rowspan="2">・</td><td rowspan="2">測定8</td><td rowspan="2">処理作業後（シート撤去後1週間以降）</td><td rowspan="2">処理作業室内</td><td>・ 計点</td></tr><tr><td>調査対象室外部の付近</td></tr><tr><td rowspan="2">・</td><td rowspan="2">測定9</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td><td>・ 計点</td></tr><tr><td></td></tr></table> 測定方法 ・ 自動測定器による測定 <table><tr><th>測定名称</th><th>測定方法</th></tr><tr><td>・ 測定4</td><td>・ 測定5</td></tr><tr><td>・ 測定（ ）</td><td>・ 測定（ ）</td></tr></table> ・ JIS K 3850-1に基づいた測定 <table><tr><th>測定名称</th><th>メンブレンフィルタ直径（mm）</th><th>試料の吸引流量（l／min）</th><th>試料の吸引時間（min）</th></tr><tr><td>・ 測定4</td><td>・ 測定5</td><td>・ 測定（ ）</td><td>・ 測定（ ）</td></tr><tr><td>・ 測定（ ）</td><td>・ 測定（ ）</td><td>・ 測定（ ）</td><td>・ 測定（ ）</td></tr><tr><td>・ 測定（ ）</td><td>・ 測定（ ）</td><td>・ 測定（ ）</td><td>・ 測定（ ）</td></tr><tr><td>・ 測定（ ）</td><td>・ 測定（ ）</td><td>・ 測定（ ）</td><td>・ 測定（ ）</td></tr></table> 石綿含有建材の処理 ・ 石綿含有吹付け材の除去 除去対象範囲 ※ 図示 除去工法 ※ 改修標準仕様書9.1.3(2) (7) による 除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置 ※ 湿潤化 ・ 面形成 除去した石綿含有吹付け材等の処分 ・ 埋立処分（管理型最終処分場） ※ 中間処理（溶融施設又は無害化処理施設） なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、上記の指定によりがたい場合は、監督職員と協議すること。 ・ 石綿含有保温材等の除去 除去対象範囲 ※ 図示 除去工法 ※ 原形のまま、手ばらし ・ 破壊して除去 除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置 ※ 湿潤化 ・ 面形成 除去した石綿含有保温材等の処分 ・ 埋立処分（管理型最終処分場） ・ 中間処理（溶融施設又は無害化処理施設） ・ 石綿含有成形板等（石綿含有けい酸カルシウム板第1種以外）の除去 除去対象範囲 ※ 図示 除去した石綿含有成形板の処分 ・ 石綿含有石こうボード ・ 埋立処分（管理型最終処分場） ・ 石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板 ・ 埋立処分（安定型最終処分場） ・ 中間処理（溶融施設又は無害化処理施設） ・ 石綿含有成形板等（石綿含有けい酸カルシウム板第1種）の除去 除去対象範囲 ※ 図示 養生方法 ・ 除去した石綿含有けい酸カルシウム板第1種の処分 ・ 埋立処分（安定型最終処分場） ・ 中間処理（溶融施設又は無害化処理施設） ・ 石綿含有仕上塗材又は石綿含有成形板（下地調整材）の除去 下記以外は、改修標準仕様書9.1.1及び9.1.2による 除去工法 ※ 石綿障害予防規則（平成十七年二月二十四日厚生労働省令第二十一号）第6条による措置と同等以上の効果を有する措置とされる工法 ・ 集じん装置併用手工具ケレン工法 ・ 集じん装置付き高圧水洗工法（15MPa以下、30～50MPa程度） ・ 集じん装置付き超高圧水洗工法（100MPa以上） ・ 超音波ケレン工法（HEPAフィルター付き掃除機併用） ・ 剝離剝用手工具ケレン工法 ・ 剝離剝用高圧水洗工法（30～50MPa程度） ・ 剝離剝用超高圧水洗工法（100MPa以上） ・ 剝離剝用超音波ケレン工法 ・ 集じん装置付きディスクグラインダーケレン工法 除去対象範囲 ※ 図示 作業場の隔離 ※ 行わない ・ 行う 試験施工 ※ 行わない ・ 行う 養生方法 除去した石綿含有仕上塗材の処分 ・ 埋立処分（安定型最終処分場） ・ 埋立処分（管理型最終処分場） ・ 中間処理（溶融施設又は無害化処理施設） 除去した石綿含有仕上塗材の保管、運搬及び処分 ※ 改修標準仕様書9.1.3(3)による 確認及び後片付け ※ 改修標準仕様書9.1.3(4) (7) (9) (A) 及び(ハ)による 石綿含有建材除去後の仕上げ工事 ※ 図示 断熱材 断熱材の種類（ ）、断熱材の厚さ（ mm） 施工箇所 ホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ 外装材 <table><tr><th>種類</th><th>防火性能</th><th>備考</th></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td></tr></table> 既存外壁の処置 既存外壁仕上材の撤去 ・ あり ・ なし 下地面の清掃 ・ 行う ・ 行わない 欠損部がある場合の改修工法 ※ 4章外壁改修工事による 工法 1章 適用区分による風圧力（ ・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3）倍の風圧力に対応した工法 不陸等の下地調整 ・ 図示 ・ 通気層の有無 ・ あり（ mm） ・ なし 断熱材、外装材の施工及び外装材の外壁への取付け ※ 断熱材及び外装材製造所の仕様による	適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点（各施工箇所ごと）	・	測定1	処理作業前	処理作業室内	・ 計点	調査対象室外部の付近	・	測定2	処理作業中	処理作業室内	・ 計点	セキュリティゾーン入口	※	測定4		集じん・排気装置の排出口（処理作業室外の場合）	出口吹出し風速1m／s以下	の位置	※	測定5		処理作業室外	・ 計点	・ 施工区画周辺	※	測定6		処理作業室内	・ 計点	（シート養生中）	・	測定8	処理作業後（シート撤去後1週間以降）	処理作業室内	・ 計点	調査対象室外部の付近	・	測定9			・ 計点		測定名称	測定方法	・ 測定4	・ 測定5	・ 測定（ ）	・ 測定（ ）	測定名称	メンブレンフィルタ直径（mm）	試料の吸引流量（l／min）	試料の吸引時間（min）	・ 測定4	・ 測定5	・ 測定（ ）	・ 測定（ ）	・ 測定（ ）	・ 測定（ ）	・ 測定（ ）	・ 測定（ ）	・ 測定（ ）	・ 測定（ ）	・ 測定（ ）	・ 測定（ ）	・ 測定（ ）	・ 測定（ ）	・ 測定（ ）	・ 測定（ ）	種類	防火性能	備考	・			2	外断熱改修工事	〔9. 2. 1～4〕 断熱材 断熱材の種類（ ）、断熱材の厚さ（ mm） 施工箇所 ホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ 外装材 <table><tr><th>種類</th><th>防火性能</th><th>備考</th></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td></tr></table> 既存外壁の処置 既存外壁仕上材の撤去 ・ あり ・ なし 下地面の清掃 ・ 行う ・ 行わない 欠損部がある場合の改修工法 ※ 4章外壁改修工事による 工法 1章 適用区分による風圧力（ ・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3）倍の風圧力に対応した工法 不陸等の下地調整 ・ 図示 ・ 通気層の有無 ・ あり（ mm） ・ なし 断熱材、外装材の施工及び外装材の外壁への取付け ※ 断熱材及び外装材製造所の仕様による	種類	防火性能	備考	・			3	断熱・防露改修工事	〔9. 3. 2～4〕 フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ ・ 断熱材打込み工法 <table><tr><th>種類</th><th>厚さ（mm）</th><th>施工箇所</th></tr><tr><td>・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材</td><td>・ 25</td><td>・</td></tr><tr><td>※ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材（スキャン層なし）</td><td>※ 2種 b A</td><td>※ 25</td></tr><tr><td></td><td>・</td><td>※ 外壁</td></tr><tr><td></td><td>※ 3種 b A</td><td>※ 25</td></tr><tr><td></td><td>・</td><td>※ スラブ</td></tr></table> ・ 硬質ウレタンフォーム断熱材 ・ フェノールフォーム断熱材 施工箇所の詳細は、仕上表及び図示による ・ 断熱材現場発泡工法 断熱材の種類 ※ A種 1 ・ A種 1 H 吹付け厚さ（mm） ・ 25 ・ 30 施工箇所 ※ 窓回り等の断熱材補修部分、ルーフドレン回りの床版下等、部分的に後張りとしなければならない箇所 ・ 図示 現場発泡断熱材（品質・性能） <table><tr><th>項目</th><th>品質・性能</th></tr><tr><td>難燃性</td><td>下記のいずれかによっていること （1）JIS A 1321「建築物の内装材料及び工法の難燃性試験方法」による難燃2級表面加熱試験又は難燃3級表面加熱試験に適合していること。 （2）法定準不燃材料、難燃材料の評価方法に使用している発熱性試験（コーンカロリー試験）に適合していること。</td></tr><tr><td>発熱性</td><td>準不燃材料試験の加熱時間は10分、難燃材料試験の加熱時間は5分において次の （1）～（3）に適合していること。 （1）総発熱量が8MJ／m²以下であること。 （2）防火上有害な裏面まで貫通する亀裂及び穴がないこと。 （3）最高発熱速度が、10秒以上継続して200KW／m²を超えないこと。</td></tr></table> （試験方法） （1）原液試験（原液粘度試験） JIS K 7117-1「プラスチック―液状、乳濁状又は分散状の樹脂―ブルックフィールド形回転粘度計による見掛け粘度の測定方法」による。 （2）発泡品試験 1）試料の作製は、JIS A 9526「建築物断熱用吹付け硬質ウレタンフォーム」の6.2.1による。 2）試料の状態調節は、JIS A 9526の6.2.2による。また、試験片の作製はJIS A 9526の6.2.3による。 3）試験場所は、JIS A 9526の6.2.4による。 4）圧縮強さ試験は、JIS A 9526の6.2.5による。 5）熱伝導率試験は、JIS A 9526の6.2.6による。 6）接着強さ試験は、JIS A 9526の6.2.7による。 7）透湿率試験は、JIS A 9526の6.2.8による。 （3）難燃性の試験は、下記のJIS A 1321に規定する表面試験及び発熱性試験による。 1）難燃性の試験については、JIS A 1321に規定する試験方法に準じる。 2）発熱性試験は、建築基準法に基づく指定性能評価機関が準不燃材料、難燃材料の評価方法に使用している試験方法に準じる。 ・ 断熱材後張り工法 断熱材の種類（ ） 断熱材の厚さ（ mm） ・ 断熱材にせっこうボード等を張り付けたパネル（材質 厚さ mm） ・ 張り付け工法 断熱材の張り付け工法 断熱材へのボードの張り付け工法 植栽基盤及び材料 屋上緑化軽量システム ・ 適用する ・ 適用しない 芝及び地被類の種類等 ※ 図示 見切り材、舗装材、排水穴、マルチング材等 ※ 図示 （品質・性能等） <table><tr><th>項目</th><th>品質・性能</th></tr><tr><td>透水、排水層等構成材の主要材質</td><td>合成樹脂等で耐腐食性及び耐久性のあるものであること。 （保水層を有する場合は、保水層共）</td></tr><tr><td>透水層</td><td>目詰まりにより植物の生育に支障を生じることがなく、植え込み用土を流出させない構造であること。</td></tr><tr><td>排水層</td><td>植物の生育に必要な排水性能を持ち、通気性及び補込み土壌を支え、流出しない構造をもつこと。</td></tr><tr><td>排水層の鉛直方向の排水性能</td><td>240L／m²・h以上</td></tr><tr><td>耐荷重性能（排水層の許容圧縮強度）</td><td>一般メンテナンス時の上部歩行に際し破壊しないこと。 3×10³ N／m²以上の載荷重で破壊・有害な変形がないこと。</td></tr><tr><td>耐根層</td><td>重ね合わせ部を含め、クマザサ等の地下茎伸長力の強い植物に対して3年以上の耐根性能を有し、かつ、耐腐食性及び耐久性のあるものであること。</td></tr><tr><td>耐根層保護層</td><td>材質は、合成樹脂等とし、耐腐食性及び耐久性を有し、かつ、施工中及び施工後の耐根層を保護するものであること。ただし、耐根層を保護するコンクリート（絶縁シートも含む）の下に設ける場合は省略することができるものとする。</td></tr></table> （試験方法） （1）排水基盤の耐荷重性能 （イ）3×10³ N／m²の等分布荷重による加圧試験を行ない、排水層及び耐根層等に有害な変形・破壊の起きないことを確認する。また、その時の圧縮応力に対する変み（％）を測定する。（保水層を有する場合は保水層も対象とする。） （ロ）試験体は耐根層から透水層までを通常使用状態でセットした3体とする。加圧速度は10mm／min以下とする。 1章 適用区分による風圧力（ ・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3）倍の風圧力に対応した工法 かん水装置 ・ 設置する（種類 ） 既存保護層の撤去 ・ 行う ・ 行わない 新植した芝及び地被類の枯補償の期間 ※ 引き渡しの日から1年 下記以外は、10章その他による 既存舗装の撤去及び再利用 ※ 図示	種類	厚さ（mm）	施工箇所	・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	・ 25	・	※ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材（スキャン層なし）	※ 2種 b A	※ 25		・	※ 外壁		※ 3種 b A	※ 25		・	※ スラブ	項目	品質・性能	難燃性	下記のいずれかによっていること （1）JIS A 1321「建築物の内装材料及び工法の難燃性試験方法」による難燃2級表面加熱試験又は難燃3級表面加熱試験に適合していること。 （2）法定準不燃材料、難燃材料の評価方法に使用している発熱性試験（コーンカロリー試験）に適合していること。	発熱性	準不燃材料試験の加熱時間は10分、難燃材料試験の加熱時間は5分において次の （1）～（3）に適合していること。 （1）総発熱量が8MJ／m ² 以下であること。 （2）防火上有害な裏面まで貫通する亀裂及び穴がないこと。 （3）最高発熱速度が、10秒以上継続して200KW／m ² を超えないこと。	項目	品質・性能	透水、排水層等構成材の主要材質	合成樹脂等で耐腐食性及び耐久性のあるものであること。 （保水層を有する場合は、保水層共）	透水層	目詰まりにより植物の生育に支障を生じることがなく、植え込み用土を流出させない構造であること。	排水層	植物の生育に必要な排水性能を持ち、通気性及び補込み土壌を支え、流出しない構造をもつこと。	排水層の鉛直方向の排水性能	240L／m ² ・h以上	耐荷重性能（排水層の許容圧縮強度）	一般メンテナンス時の上部歩行に際し破壊しないこと。 3×10 ³ N／m ² 以上の載荷重で破壊・有害な変形がないこと。	耐根層	重ね合わせ部を含め、クマザサ等の地下茎伸長力の強い植物に対して3年以上の耐根性能を有し、かつ、耐腐食性及び耐久性のあるものであること。	耐根層保護層	材質は、合成樹脂等とし、耐腐食性及び耐久性を有し、かつ、施工中及び施工後の耐根層を保護するものであること。ただし、耐根層を保護するコンクリート（絶縁シートも含む）の下に設ける場合は省略することができるものとする。	4	屋上緑化改修工事	〔9. 4. 2～4〕 植栽基盤及び材料 屋上緑化経量システム ・ 適用する ・ 適用しない 芝及び地被類の種類等 ※ 図示 見切り材、舗装材、排水穴、マルチング材等 ※ 図示 （品質・性能等） <table><tr><th>項目</th><th>品質・性能</th></tr><tr><td>透水、排水層等構成材の主要材質</td><td>合成樹脂等で耐腐食性及び耐久性のあるものであること。 （保水層を有する場合は、保水層共）</td></tr><tr><td>透水層</td><td>目詰まりにより植物の生育に支障を生じることがなく、植え込み用土を流出させない構造であること。</td></tr><tr><td>排水層</td><td>植物の生育に必要な排水性能を持ち、通気性及び補込み土壌を支え、流出しない構造をもつこと。</td></tr><tr><td>排水層の鉛直方向の排水性能</td><td>240L／m²・h以上</td></tr><tr><td>耐荷重性能（排水層の許容圧縮強度）</td><td>一般メンテナンス時の上部歩行に際し破壊しないこと。 3×10³ N／m²以上の載荷重で破壊・有害な変形がないこと。</td></tr><tr><td>耐根層</td><td>重ね合わせ部を含め、クマザサ等の地下茎伸長力の強い植物に対して3年以上の耐根性能を有し、かつ、耐腐食性及び耐久性のあるものであること。</td></tr><tr><td>耐根層保護層</td><td>材質は、合成樹脂等とし、耐腐食性及び耐久性を有し、かつ、施工中及び施工後の耐根層を保護するものであること。ただし、耐根層を保護するコンクリート（絶縁シートも含む）の下に設ける場合は省略することができるものとする。</td></tr></table> （試験方法） （1）排水基盤の耐荷重性能 （イ）3×10³ N／m²の等分布荷重による加圧試験を行ない、排水層及び耐根層等に有害な変形・破壊の起きないことを確認する。また、その時の圧縮応力に対する変み（％）を測定する。（保水層を有する場合は保水層も対象とする。） （ロ）試験体は耐根層から透水層までを通常使用状態でセットした3体とする。加圧速度は10mm／min以下とする。 1章 適用区分による風圧力（ ・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3）倍の風圧力に対応した工法 かん水装置 ・ 設置する（種類 ） 既存保護層の撤去 ・ 行う ・ 行わない 新植した芝及び地被類の枯補償の期間 ※ 引き渡しの日から1年 下記以外は、10章その他による 既存舗装の撤去及び再利用 ※ 図示	項目	品質・性能	透水、排水層等構成材の主要材質	合成樹脂等で耐腐食性及び耐久性のあるものであること。 （保水層を有する場合は、保水層共）	透水層	目詰まりにより植物の生育に支障を生じることがなく、植え込み用土を流出させない構造であること。	排水層	植物の生育に必要な排水性能を持ち、通気性及び補込み土壌を支え、流出しない構造をもつこと。	排水層の鉛直方向の排水性能	240L／m ² ・h以上	耐荷重性能（排水層の許容圧縮強度）	一般メンテナンス時の上部歩行に際し破壊しないこと。 3×10 ³ N／m ² 以上の載荷重で破壊・有害な変形がないこと。	耐根層	重ね合わせ部を含め、クマザサ等の地下茎伸長力の強い植物に対して3年以上の耐根性能を有し、かつ、耐腐食性及び耐久性のあるものであること。	耐根層保護層	材質は、合成樹脂等とし、耐腐食性及び耐久性を有し、かつ、施工中及び施工後の耐根層を保護するものであること。ただし、耐根層を保護するコンクリート（絶縁シートも含む）の下に設ける場合は省略することができるものとする。	5	透水性アスファルト舗装改修工事	〔9. 5. 2～5、9〕 透水性アスファルト舗装改修工事 下記以外は、10章その他による 既存舗装の撤去及び再利用 ※ 図示	10	その他		1	フリーアクセスフロア	（2.0. 2. 2） <table><tr><th>構造</th><th>・ 置数式</th><th>・ 支柱調整式</th></tr><tr><td>所定荷重</td><td>※ 3,000N ・ 5,000N</td><td>※ 3,000N ・ 5,000N</td></tr><tr><td>耐震性能</td><td>・ 1.0 ・ 0.6</td><td>・ 1.0 ・ 0.6</td></tr></table> パネル寸法（mm） 高さ（mm） 表面仕上材 ※ タイルカーペット ※ タイルカーペット ※ 帯電防止床タイル ※ 帯電防止床タイル 施工箇所 ※ 図示 ※ 図示 寸法精度 ※ 標準仕様書20.2.2(2) (4) (a)～(c)による スロープ及びボーダー ※ 製造所の仕様による 図示 配線用取り出しパネル フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合 ※ 製造所の仕様による ・ 20～30パーセント 配線取り出し開口 ※ 製造所の仕様による ・ パネル枚につき、40mm×80mm程度の開口1箇所以上 空調用吹き出し（吸い込み）パネル ・ なし ・ あり（形式、施工箇所： ※ 図示 ・ ） （性能） （1）耐荷重性能 変形5.0mm以下 残留変形3.0mm以下 （2）耐衝撃性能 残留変形3.0mm以下及び損傷がないこと （3）ローリングロード性能 所定荷重1,000N（5,000Nの積載荷重は1,000N以上で任意）による繰り返し試験後、残留変形3.0mm以下 （4）耐震性能 イ）固定台試験による耐震性能 <table><tr><th>項目</th><th>性能</th></tr><tr><td>①ベースプレート又はアンカーが耐力に達したとき又はコンクリート接着面が剥離したとき</td><td>水平荷重の1/2が下記の＜適用地震時水平力＞以上</td></tr><tr><td>②上記①以外の部分が耐力に達したとき</td><td>水平荷重の1/1.5が下記の＜適用地震時水平力＞以上</td></tr><tr><td>③適用地震時水平力を加力した時の支柱頂部の変位</td><td>構造床面からの高さの1/50以下</td></tr></table> ＜適用地震時水平力＞ 3,000N 0.6タイプ 支柱一本が負担する床加重 {（m2当り自重+3,000N）/m2当りの支柱本数}×0.6 3,000N 1.0タイプ 支柱一本が負担する床加重 {（m2当り自重+3,000N）/m2当りの支柱本数}×1.0 5,000N 0.6タイプ 支柱一本が負担する床加重 {（m2当り自重+5,000N）/m2当りの支柱本数}×0.6 5,000N 1.0タイプ 支柱一本が負担する床加重 {（m2当り自重+5,000N）/m2当りの支柱本数}×1.0 ロ）振動台試験による耐震性能（設計床高≤300mmの場合のみ） 振動台試験において、パネルの脱落や使用上又は避難上支障をきたす損傷、せり上がり、隙間及び水平移動がない。 （5）耐燃焼性能 建築基準法第2条第9号の規定に基づく不燃材料又は燃焼終了後の残炭時間が0秒 （6）帯電防止性能評価値（U） 0.6以上 （7）感電防止性能 漏えい抵抗(R)≥1×10⁵Ω （8）歩行感 通常の歩行において空間音やたつきがなく、歩行感に違和感がない （9）メンテナンス性 交換が必要な部品については交換できるよう設計されている。 （試験方法） （1）耐震性能 1）設計床高≤300mmの場合 試験体ユニット1000mm×2500mm程度 所定の重りの質量 3000N：200kg 5000N：350kg 加振 0.6：所定加速度600cm／S² 1.0：所定加速度1000cm／S² 2）300mm<設計床高≤600mmの場合 ①固定台による耐震性能試験 イ、支柱調整式―支柱分離型・支柱固定タイプの全てのタイプ共、下記の試験方法―1又は、試験方法―2による。 ロ、原則として、試験方法―1はパネル単体設置（Aタイプ）に適用し、試験方法―2はパネル連結設置（Bタイプ）に適用するものとする。 ②試験方法―1 イ、試験は、コンクリート（JIS A 5371プレキャスト無筋コンクリート製品 種類：N300）に接着した支柱の頂部に対し、水平方向に適用地震時水平力及び水平最大耐力まで加力し、各測定点における水平力、支柱頂部の変形量を測定する。 ロ、加力方向は、	構造	・ 置数式	・ 支柱調整式	所定荷重	※ 3,000N ・ 5,000N	※ 3,000N ・ 5,000N	耐震性能	・ 1.0 ・ 0.6	・ 1.0 ・ 0.6	項目	性能	①ベースプレート又はアンカーが耐力に達したとき又はコンクリート接着面が剥離したとき	水平荷重の1/2が下記の＜適用地震時水平力＞以上	②上記①以外の部分が耐力に達したとき	水平荷重の1/1.5が下記の＜適用地震時水平力＞以上	③適用地震時水平力を加力した時の支柱頂部の変位	構造床面からの高さの1/50以下
			適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点（各施工箇所ごと）																																																																																																																																																																													
・	測定1	処理作業前	処理作業室内	・ 計点																																																																																																																																																																																
				調査対象室外部の付近																																																																																																																																																																																
・	測定2	処理作業中	処理作業室内	・ 計点																																																																																																																																																																																
				セキュリティゾーン入口																																																																																																																																																																																
※	測定4		集じん・排気装置の排出口（処理作業室外の場合）	出口吹出し風速1m／s以下																																																																																																																																																																																
				の位置																																																																																																																																																																																
※	測定5		処理作業室外	・ 計点																																																																																																																																																																																
				・ 施工区画周辺																																																																																																																																																																																
※	測定6		処理作業室内	・ 計点																																																																																																																																																																																
				（シート養生中）																																																																																																																																																																																
・	測定8	処理作業後（シート撤去後1週間以降）	処理作業室内	・ 計点																																																																																																																																																																																
				調査対象室外部の付近																																																																																																																																																																																
・	測定9			・ 計点																																																																																																																																																																																
測定名称	測定方法																																																																																																																																																																																			
・ 測定4	・ 測定5																																																																																																																																																																																			
・ 測定（ ）	・ 測定（ ）																																																																																																																																																																																			
測定名称	メンブレンフィルタ直径（mm）	試料の吸引流量（l／min）	試料の吸引時間（min）																																																																																																																																																																																	
・ 測定4	・ 測定5	・ 測定（ ）	・ 測定（ ）																																																																																																																																																																																	
・ 測定（ ）	・ 測定（ ）	・ 測定（ ）	・ 測定（ ）																																																																																																																																																																																	
・ 測定（ ）	・ 測定（ ）	・ 測定（ ）	・ 測定（ ）																																																																																																																																																																																	
・ 測定（ ）	・ 測定（ ）	・ 測定（ ）	・ 測定（ ）																																																																																																																																																																																	
種類	防火性能	備考																																																																																																																																																																																		
・																																																																																																																																																																																				
種類	防火性能	備考																																																																																																																																																																																		
・																																																																																																																																																																																				
種類	厚さ（mm）	施工箇所																																																																																																																																																																																		
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	・ 25	・																																																																																																																																																																																		
※ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材（スキャン層なし）	※ 2種 b A	※ 25																																																																																																																																																																																		
	・	※ 外壁																																																																																																																																																																																		
	※ 3種 b A	※ 25																																																																																																																																																																																		
	・	※ スラブ																																																																																																																																																																																		
項目	品質・性能																																																																																																																																																																																			
難燃性	下記のいずれかによっていること （1）JIS A 1321「建築物の内装材料及び工法の難燃性試験方法」による難燃2級表面加熱試験又は難燃3級表面加熱試験に適合していること。 （2）法定準不燃材料、難燃材料の評価方法に使用している発熱性試験（コーンカロリー試験）に適合していること。																																																																																																																																																																																			
発熱性	準不燃材料試験の加熱時間は10分、難燃材料試験の加熱時間は5分において次の （1）～（3）に適合していること。 （1）総発熱量が8MJ／m ² 以下であること。 （2）防火上有害な裏面まで貫通する亀裂及び穴がないこと。 （3）最高発熱速度が、10秒以上継続して200KW／m ² を超えないこと。																																																																																																																																																																																			
項目	品質・性能																																																																																																																																																																																			
透水、排水層等構成材の主要材質	合成樹脂等で耐腐食性及び耐久性のあるものであること。 （保水層を有する場合は、保水層共）																																																																																																																																																																																			
透水層	目詰まりにより植物の生育に支障を生じることがなく、植え込み用土を流出させない構造であること。																																																																																																																																																																																			
排水層	植物の生育に必要な排水性能を持ち、通気性及び補込み土壌を支え、流出しない構造をもつこと。																																																																																																																																																																																			
排水層の鉛直方向の排水性能	240L／m ² ・h以上																																																																																																																																																																																			
耐荷重性能（排水層の許容圧縮強度）	一般メンテナンス時の上部歩行に際し破壊しないこと。 3×10 ³ N／m ² 以上の載荷重で破壊・有害な変形がないこと。																																																																																																																																																																																			
耐根層	重ね合わせ部を含め、クマザサ等の地下茎伸長力の強い植物に対して3年以上の耐根性能を有し、かつ、耐腐食性及び耐久性のあるものであること。																																																																																																																																																																																			
耐根層保護層	材質は、合成樹脂等とし、耐腐食性及び耐久性を有し、かつ、施工中及び施工後の耐根層を保護するものであること。ただし、耐根層を保護するコンクリート（絶縁シートも含む）の下に設ける場合は省略することができるものとする。																																																																																																																																																																																			
項目	品質・性能																																																																																																																																																																																			
透水、排水層等構成材の主要材質	合成樹脂等で耐腐食性及び耐久性のあるものであること。 （保水層を有する場合は、保水層共）																																																																																																																																																																																			
透水層	目詰まりにより植物の生育に支障を生じることがなく、植え込み用土を流出させない構造であること。																																																																																																																																																																																			
排水層	植物の生育に必要な排水性能を持ち、通気性及び補込み土壌を支え、流出しない構造をもつこと。																																																																																																																																																																																			
排水層の鉛直方向の排水性能	240L／m ² ・h以上																																																																																																																																																																																			
耐荷重性能（排水層の許容圧縮強度）	一般メンテナンス時の上部歩行に際し破壊しないこと。 3×10 ³ N／m ² 以上の載荷重で破壊・有害な変形がないこと。																																																																																																																																																																																			
耐根層	重ね合わせ部を含め、クマザサ等の地下茎伸長力の強い植物に対して3年以上の耐根性能を有し、かつ、耐腐食性及び耐久性のあるものであること。																																																																																																																																																																																			
耐根層保護層	材質は、合成樹脂等とし、耐腐食性及び耐久性を有し、かつ、施工中及び施工後の耐根層を保護するものであること。ただし、耐根層を保護するコンクリート（絶縁シートも含む）の下に設ける場合は省略することができるものとする。																																																																																																																																																																																			
構造	・ 置数式	・ 支柱調整式																																																																																																																																																																																		
所定荷重	※ 3,000N ・ 5,000N	※ 3,000N ・ 5,000N																																																																																																																																																																																		
耐震性能	・ 1.0 ・ 0.6	・ 1.0 ・ 0.6																																																																																																																																																																																		
項目	性能																																																																																																																																																																																			
①ベースプレート又はアンカーが耐力に達したとき又はコンクリート接着面が剥離したとき	水平荷重の1/2が下記の＜適用地震時水平力＞以上																																																																																																																																																																																			
②上記①以外の部分が耐力に達したとき	水平荷重の1/1.5が下記の＜適用地震時水平力＞以上																																																																																																																																																																																			
③適用地震時水平力を加力した時の支柱頂部の変位	構造床面からの高さの1/50以下																																																																																																																																																																																			

建築非構造部材の耐震性能に係る標準的な特記事項			扉 A D S D L D S S D	R C壁に設置する特定室等及び避難経路の扉 ・耐震ドア 面内変形追随性の等級（・） （建具符号：※建具表による・）	その他の 建築非構造部材	フリーアクセスフロア	フリーアクセスフロア	20章 フリーアクセスフロアの特記事項による																						
建築設計基準	項目	特記事項							材質	階区分	建策物間の クリアランス (mm)	変位追従量 (mm)	耐火性能	断熱性能	備考															
外壁	縦壁	C W（メタル P C a）	C W工事 取付方法、性能等 地震力に対する安全性 設計用震度 設計用水平震度（K _H ） ※ 1. 0 ・ 設計用鉛直震度（K _V ） ※ 0. 5 ・ 構造体の層間変形に対する追従性 層間変形角 ・ 1／100 ・ 1／200 ・ 層間変形角1／300に対して、ほとんど補修の必要がなく、継続使用に耐えること。					ガラス	ガラス	ガラス	構造体の層間変形に対する追従性 以下の構造体の層間変形角に対して、破壊、脱落が生じないよう取り付けられているものとする。 構造体の層間変形角 ・ 1／100 ・ 1／200 ・ ／																			
			範囲 ※図示 特定天井の設計用震度及びクリアランスは以下による。 特定天井告示（平成25年国土交通省告示第771号）による特定天井の設計用震度検証ルート（ <table><tr><th>室名</th><th>階</th><th>設計用水平 震度（K_H）</th><th>設計用鉛直 震度（K_V）</th><th>クリアランス (mm)</th></tr><tr><td></td><td></td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr><tr><td></td><td></td><td>・</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> ）								室名	階	設計用水平 震度（K _H ）	設計用鉛直 震度（K _V ）	クリアランス (mm)			・	・	・			・							
			室名	階	設計用水平 震度（K _H ）	設計用鉛直 震度（K _V ）	クリアランス (mm)																							
					・	・	・																							
					・																									
			天井 ※図示 標準仕様書14. 4. 1～14. 4. 4に加えて、天井下地材における耐震性を考慮した補強は、以下の1）～4）のとおりとする。 1）野縁受けは、相互にジョイントを差し込んだ上でねじ留め。 2）野縁や野縁受けの隅り合うジョイントの位置は、互いに1m以上離し、千鳥状に配置。 3）野縁受けと吊りボルトの接合に用いるハンガーは、ねじ留め等の措置（開き止め）を講じる。 4）野縁と野縁受けの接合に用いるクリップは、特定天井告示（平成25年国土交通省告示第771号）第3第3項に適合する又は耐風圧クリップ相当の取組適合を「新たな特定天井の技術基準（天井と周囲の壁等との間に隙間を設けない仕様を追加）の解説（平成28年7月版）」（国土交通省国土技術政策総合研究所他）の「付録1クリップの接合部の衝撃試験」により確認されたものを使用する。なお、当該クリップは、J I S A 6 5 1 7 によりなくともよいものとする。																											
			天井 在来工法の吊り天井 軽量鉄骨天井下地																											
			天井 システム天井 システム天井 ※グリッドタイプ ・システム天井 範囲 ※図示 ・ 耐震性 以下の設計用震度の地震力及び構造体の層間変形角に対して、脱落しないものとする。 なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。 設計用水平震度（K _H ） ※1. 0 ・ 設計用鉛直震度（K _V ） ※0. 5 ・ 構造体の層間変形角 ・ 1／100 ・ 1／200 ・ ／																											
			間仕切り 間仕切り A L Cパネル 間仕切りパネルの耐震性 地震力に対する安全性 設計用震度 設計用水平震度（K _H ） ※1. 0 ・ 設計用鉛直震度（K _V ） ※0. 5 ・ 構造体の層間変形に対する追従性 層間変形角 ・ 1／100 ・ 1／200 ・																											
間仕切り 間仕切り A L Cパネル 間仕切りパネルの耐震性 地震力に対する安全性 設計用震度 設計用水平震度（K _H ） ※1. 0 ・ 設計用鉛直震度（K _V ） ※0. 5 ・ 構造体の層間変形に対する追従性 層間変形角 ・ 1／100 ・ 1／200 ・																														
間仕切り 間仕切り A L Cパネル 間仕切りパネルの耐震性 地震力に対する安全性 設計用震度 設計用水平震度（K _H ） ※1. 0 ・ 設計用鉛直震度（K _V ） ※0. 5 ・ 構造体の層間変形に対する追従性 層間変形角 ・ 1／100 ・ 1／200 ・																														
間仕切り 間仕切り A L Cパネル 間仕切りパネルの耐震性 地震力に対する安全性 設計用震度 設計用水平震度（K _H ） ※1. 0 ・ 設計用鉛直震度（K _V ） ※0. 5 ・ 構造体の層間変形に対する追従性 層間変形角 ・ 1／100 ・ 1／200 ・																														
外壁	仕上げ	石工事	—																											
			—																											
			—																											

材質	階区分	建策物間の クリアランス (mm)	変位追従量 (mm)	耐火性能	断熱性能	備考
・アルミ ニウム製 ・ステン レス製	（ ）階 ～（ ）階	・50 ・100 ・150 ・	（避難経路の 床等） ・有り （ ） ・無し （その他） ・以上	・有り （ ） ・無し （		

材質	階区分	建築物間のクリアランス（mm）	実位追従量（mm）	耐火性能	断熱性能	備考
・アルミ ・ニウム製 ・ステン ・レス製	（ ）階 ～（ ）階	・5 0 ・1 0 0 ・1 5 0	（避難経路の床等） ・以上 （その他） ・以上	・有り （ ） ・無し	・有り （ ） ・無し	
・アルミ ・ニウム製 ・ステン ・レス製	（ ）階 ～（ ）階	・5 0 ・1 0 0 ・1 5 0	（避難経路の床等） ・以上 （その他） ・以上	・有り （ ） ・無し	・有り （ ） ・無し	

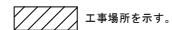
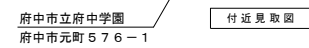
外部に設置するものは、防水型とする。
エキスパンションジョイントカバーには、脱落防止措置を講じる。

固定方法
・壁固定（図示）
・床固定（図示）
以下の設計用震度の地震による引抜き力に対して固定金具に生じる応力度が所定の応力度以内にあり、有害な残留ひずみが生じないものとする。ただし、所定の応力度以内にあたる事の確認が困難な場合は、試験等により設計用震度の地震による引抜き力に対して有害な残留ひずみが生じないことを確認する。なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。所定の応力度は、短期許容応力度とし、短期許容応力度が定められていない材料については、関連基準（製造者等により構成される協会等が定める指針等を含む。）が定める値による。

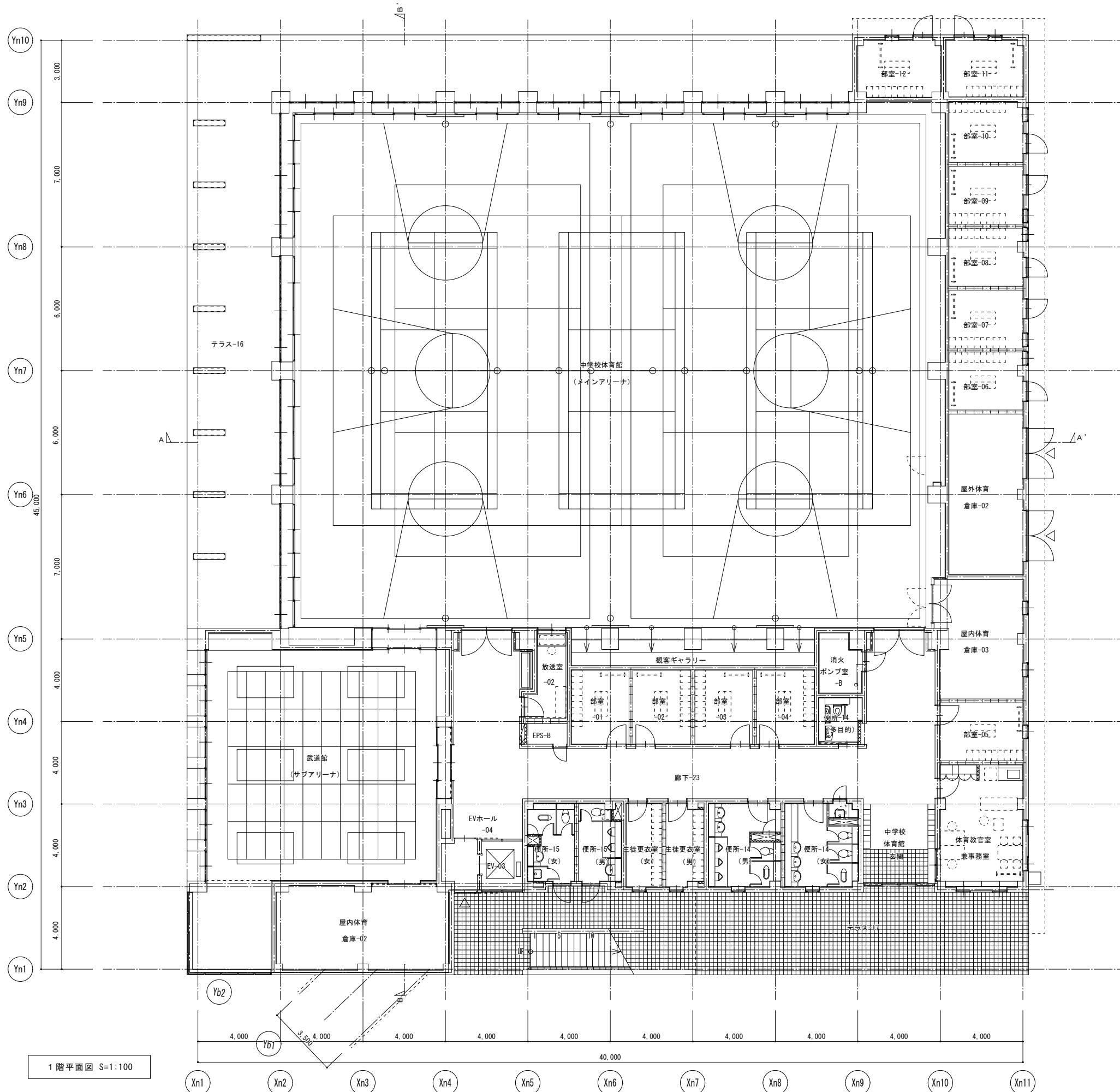
設計用水平震度（K_H）※ 1. 0・
設計用鉛直震度（K_V）※ 0. 5・

家具名称	設置場所	備考
・	・	・
・	・	・
・	・	・
・	・	・

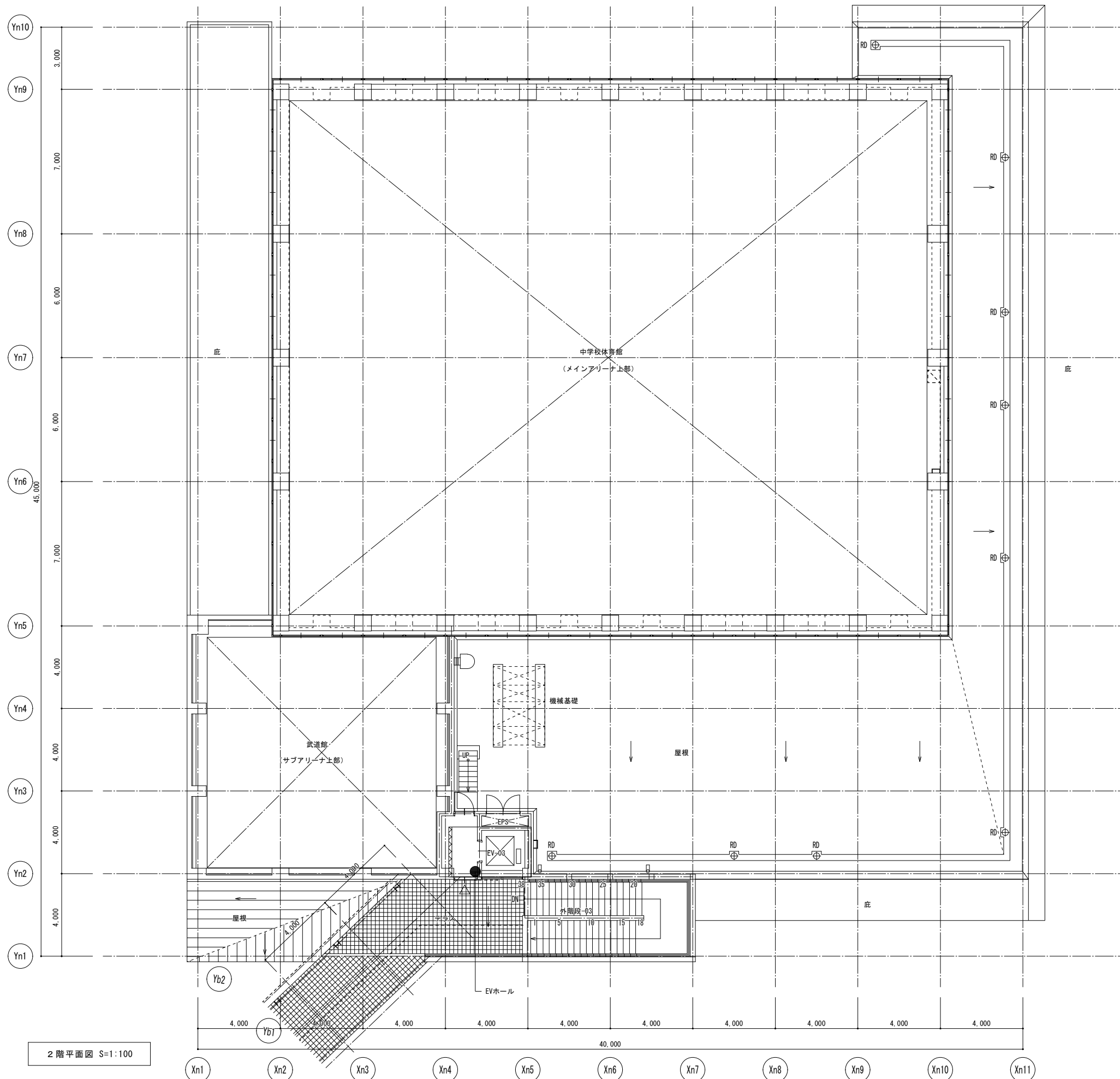
・軽量鉄骨壁下地等への補強（※図示・）
※収納物の散乱防止措置（ラッチ機構、ロック機構等）を講ずる。
・



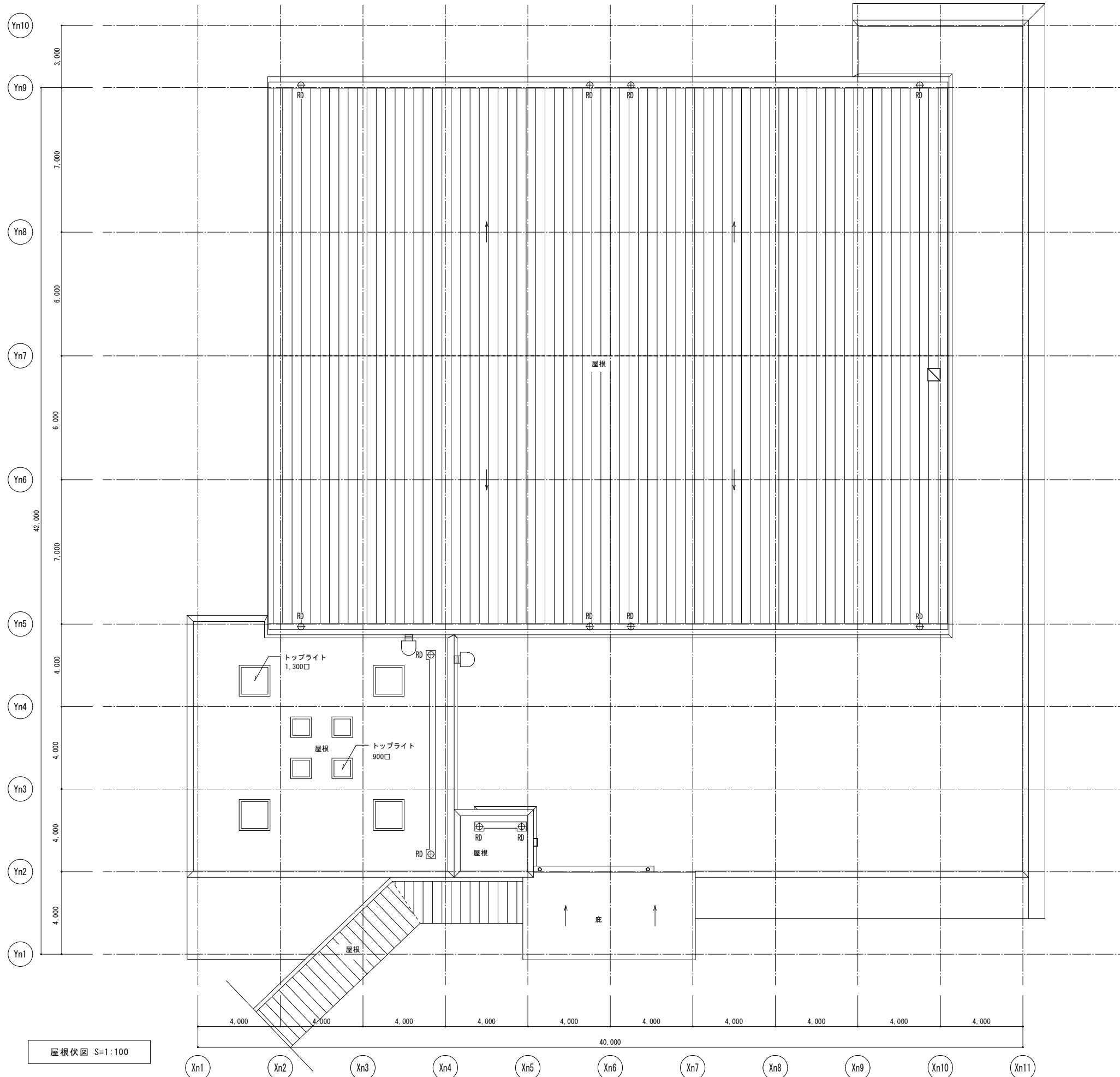
配置図 S = 1 : 800

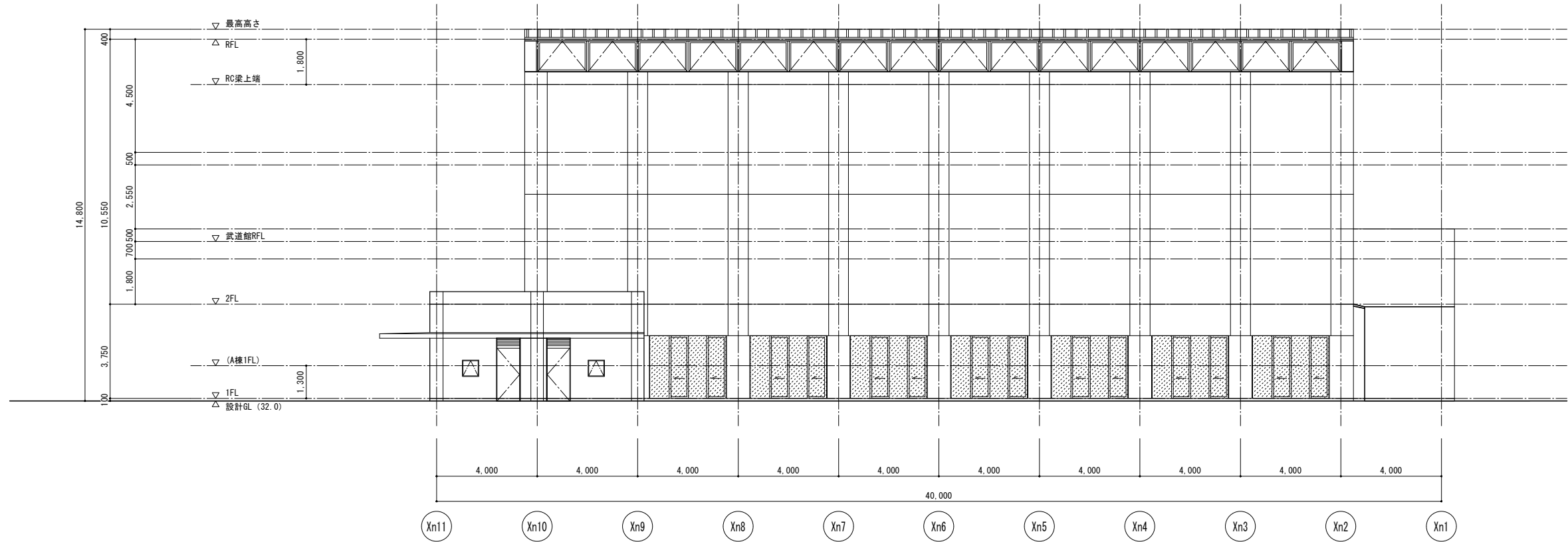


1階平面図 S=1:100

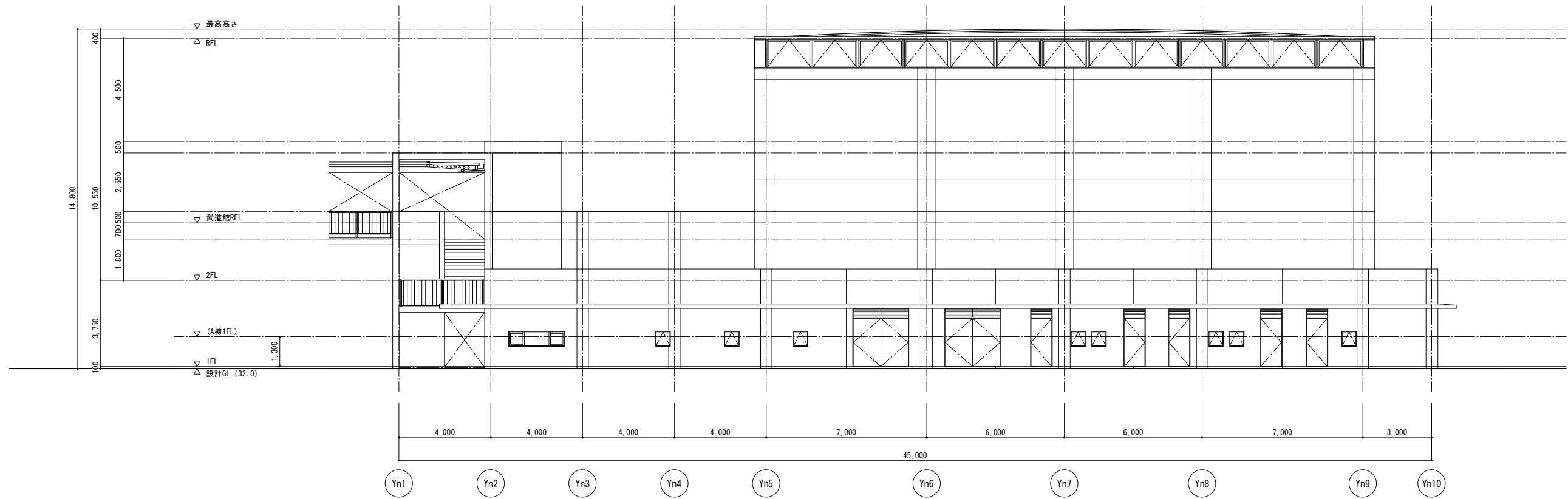


2 階平面図 S=1:100



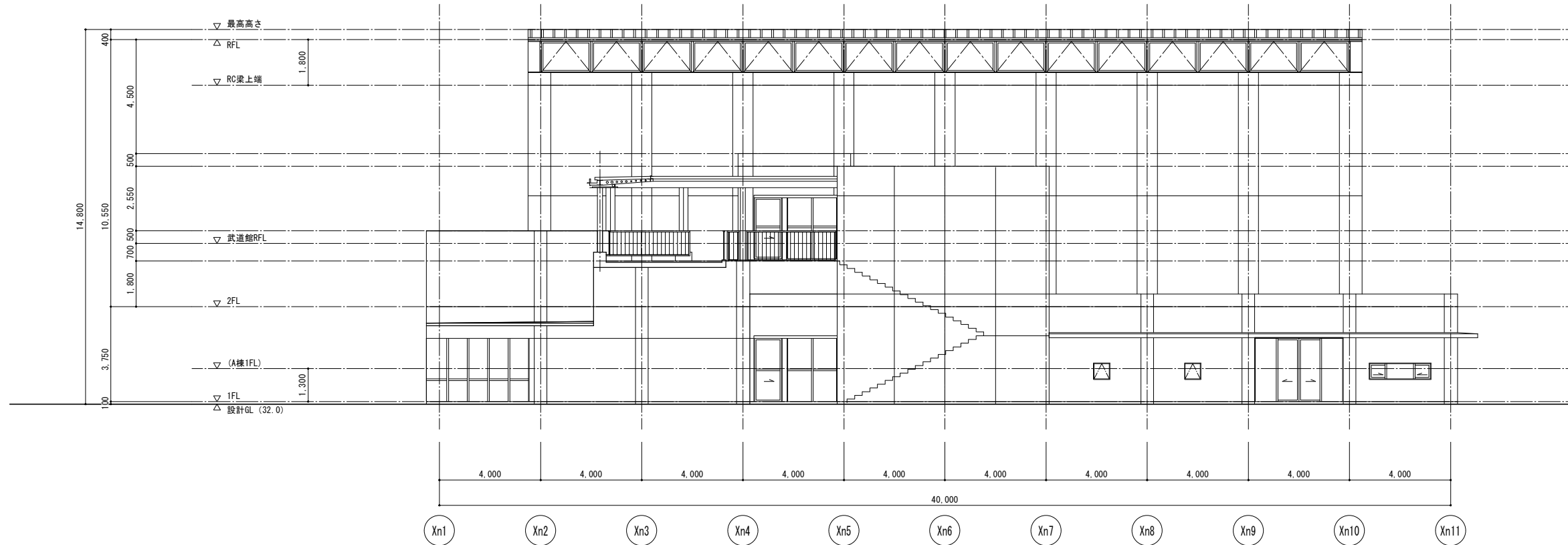


北側立面図 S=1:100

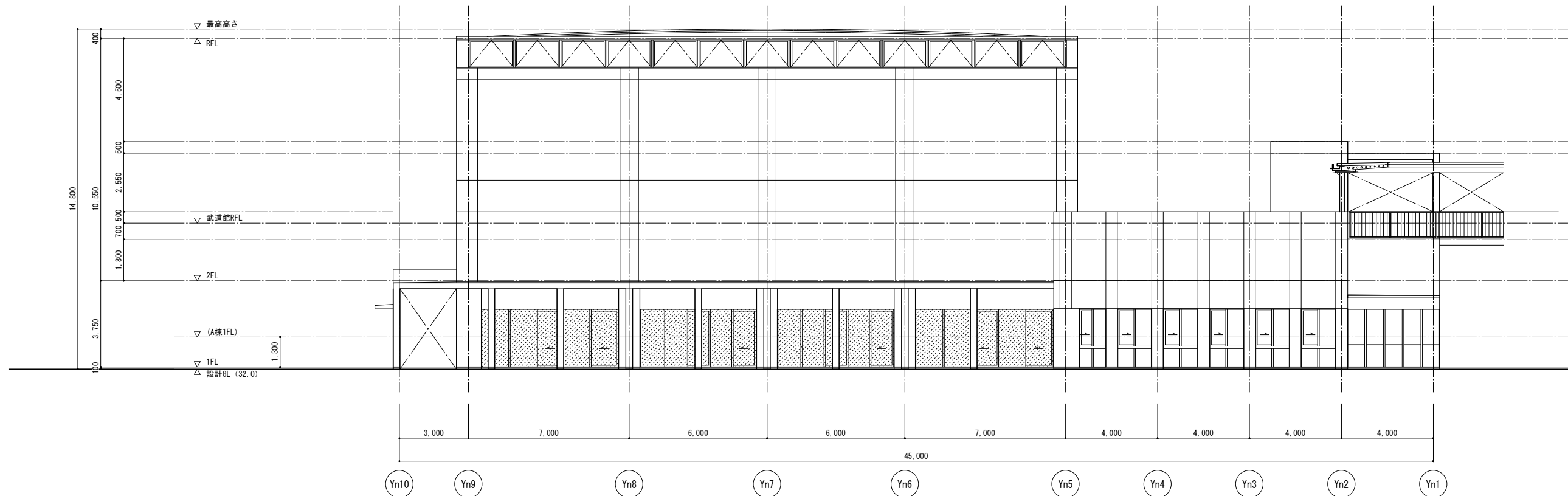


東側立面図 S=1:100

〔凡例〕
--- 道熱フィルム貼り部分を示す

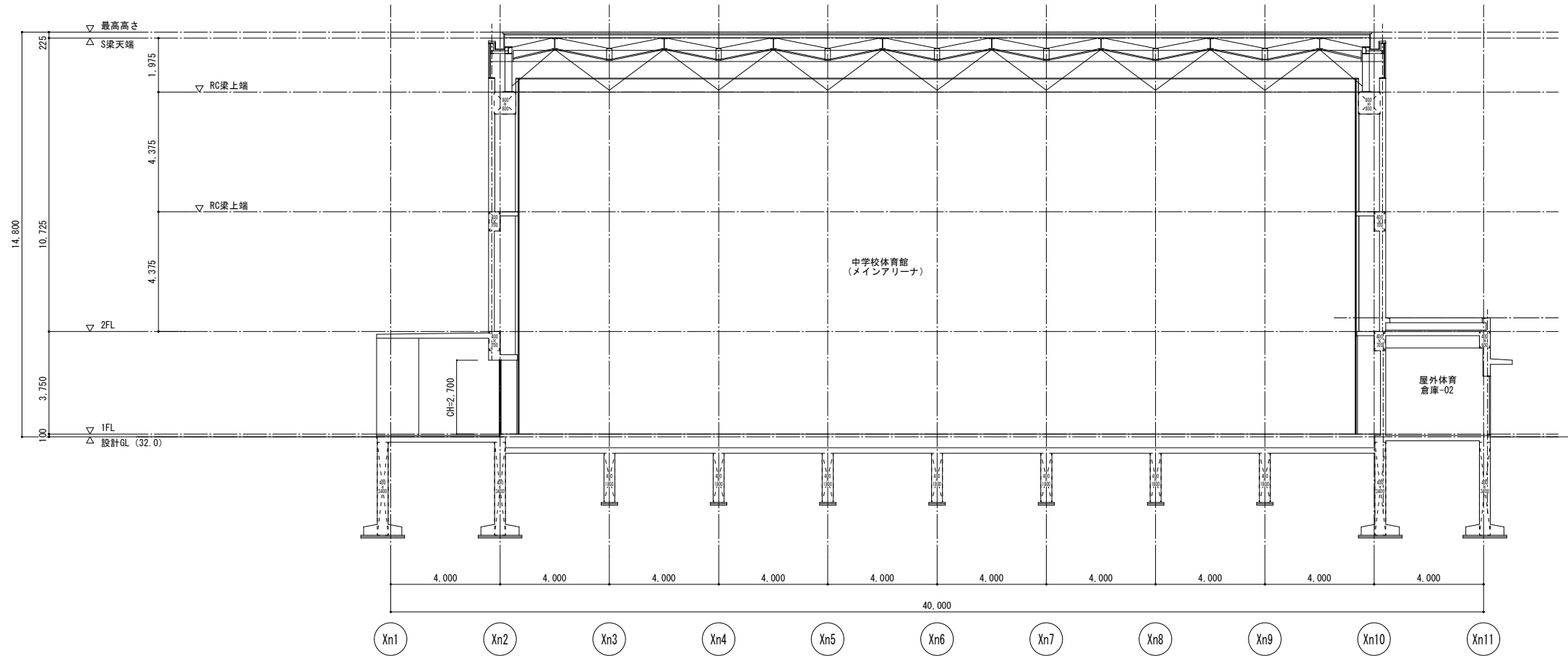


南側立面図 S=1:100

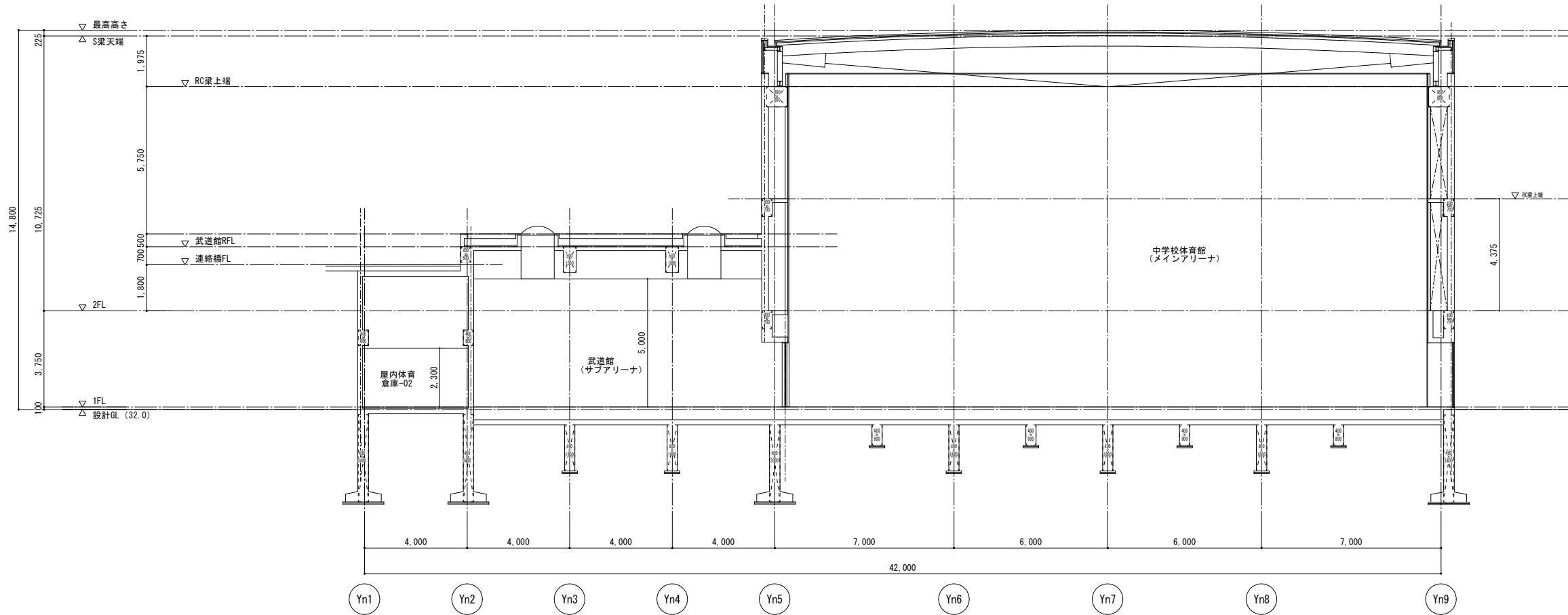


西側立面図 S=1:100

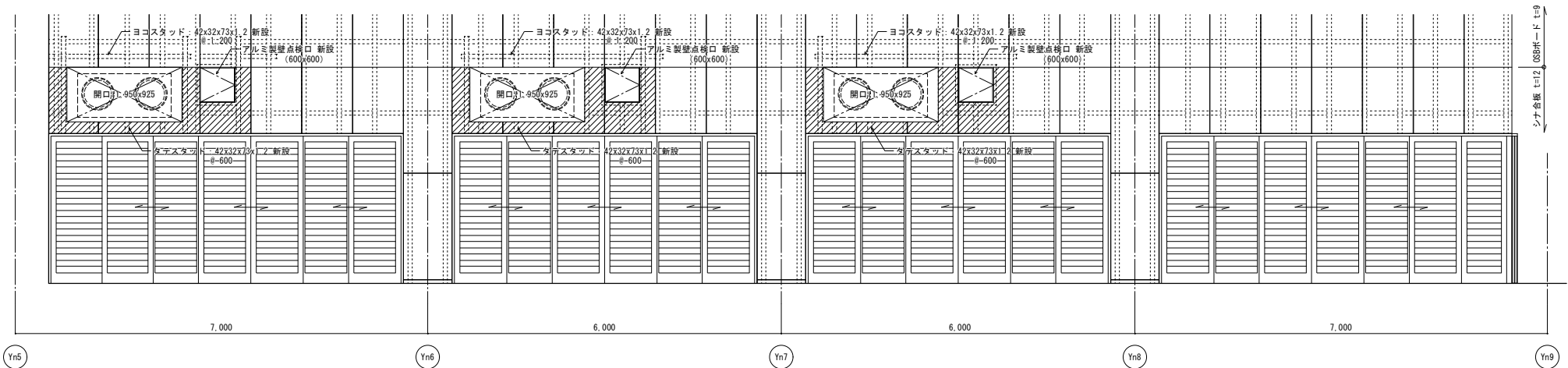
〔凡例〕
—— 道熱フィルム貼り部分を示す



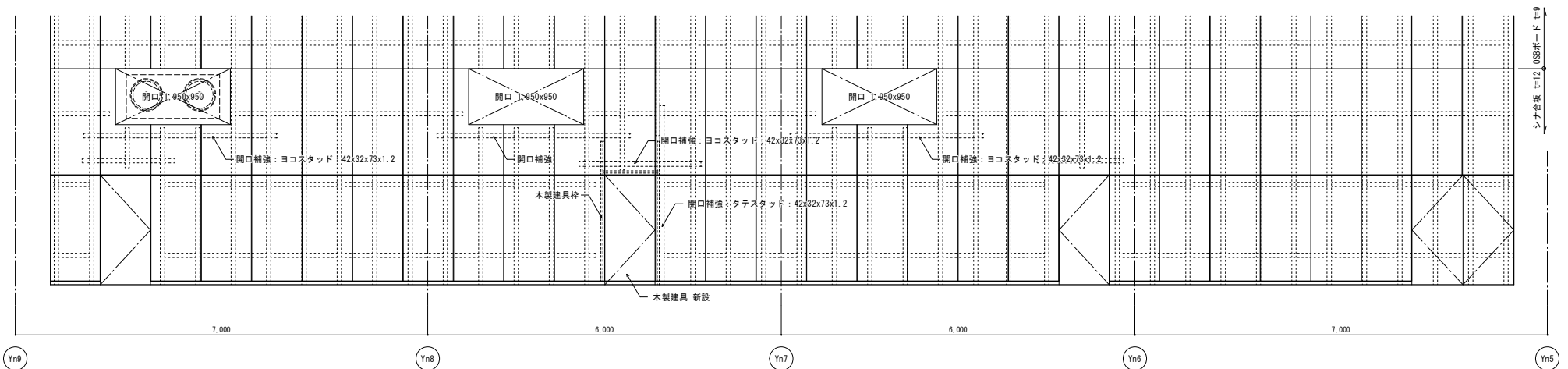
A-A' 断面図



B-B' 断面図

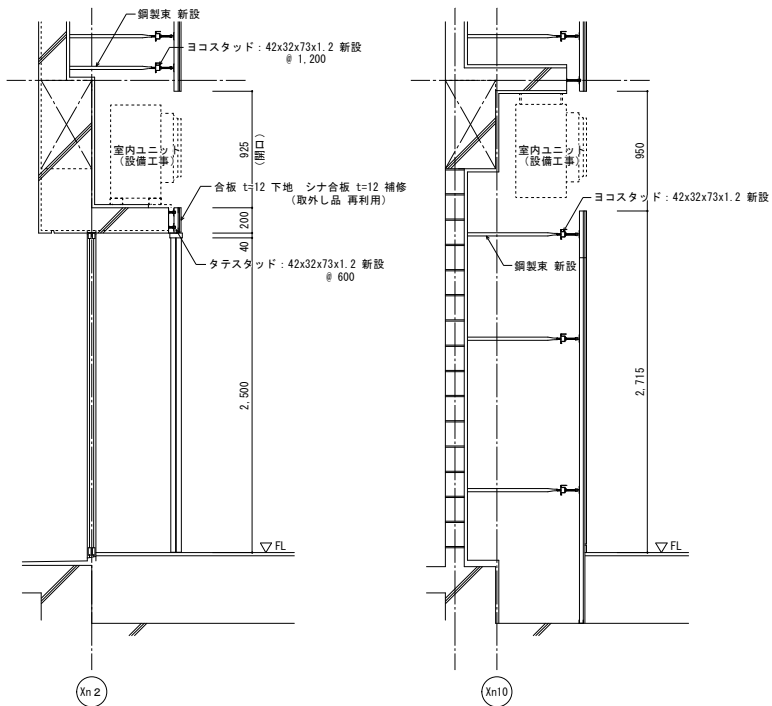


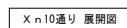
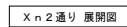
X n 2 通り 展開図



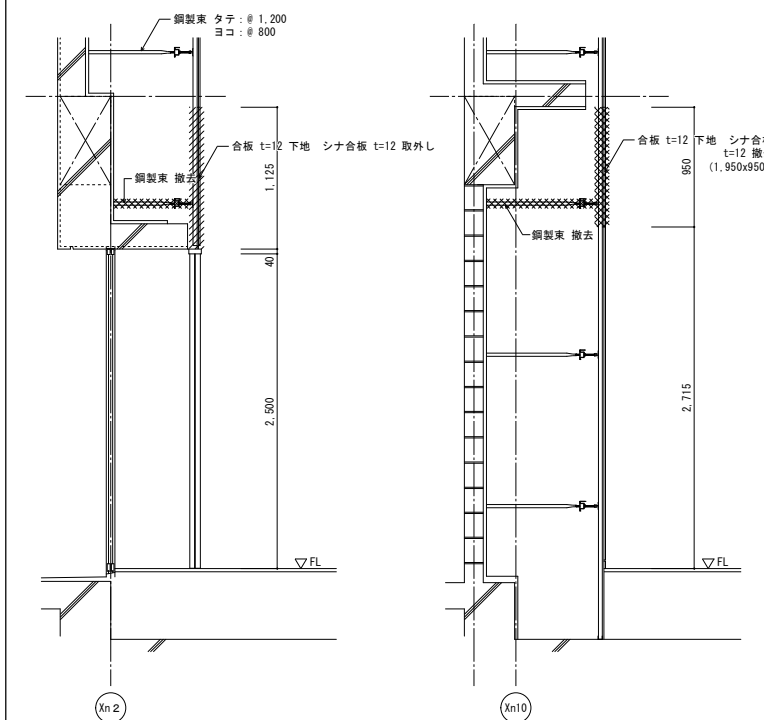
X n 10 通り 展開図

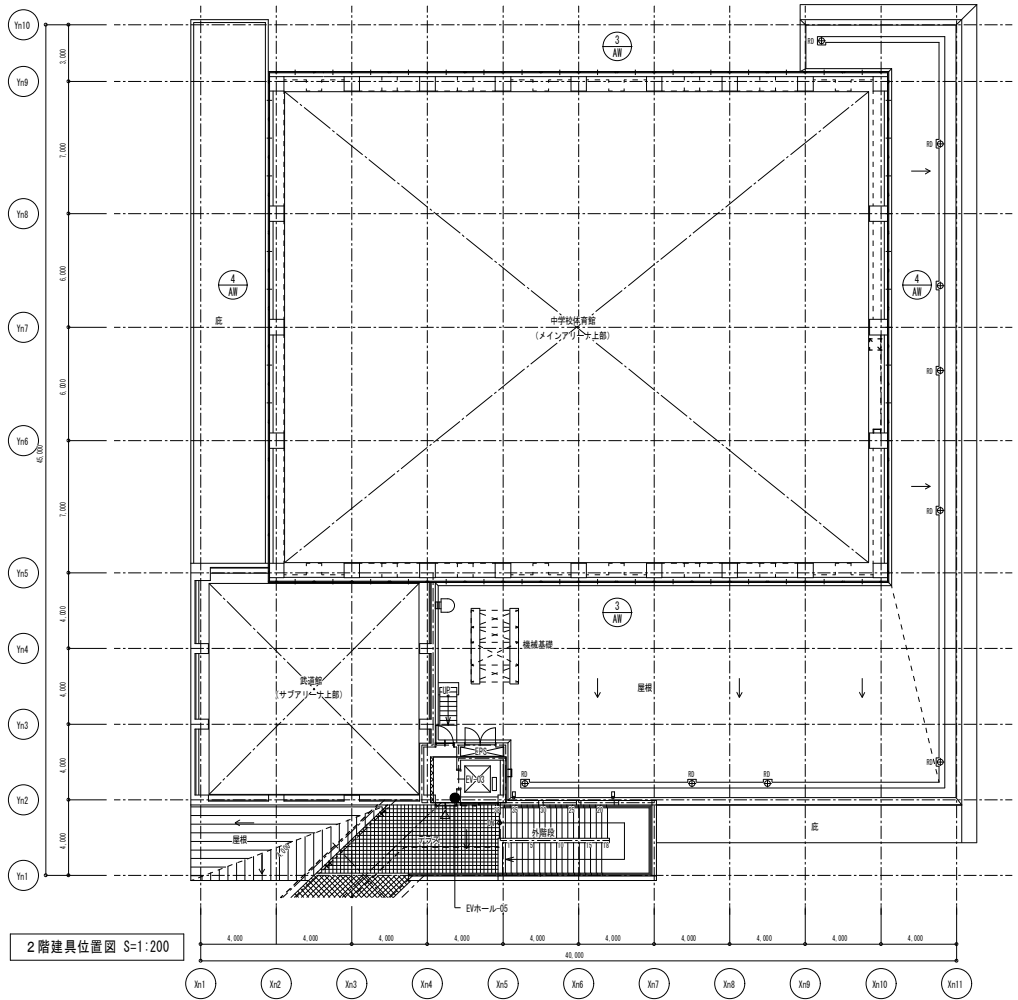
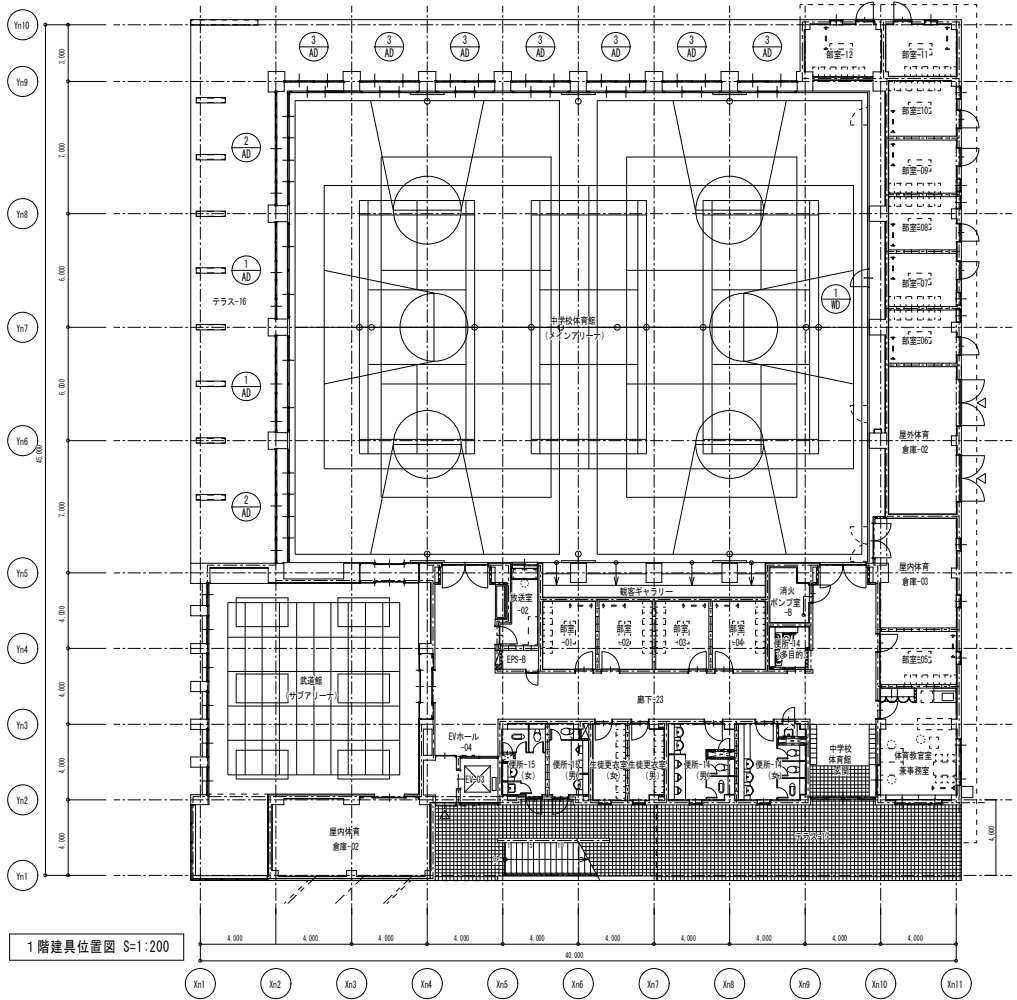
〔 凡 例 〕
--- 補修部分部分を示す
(取外し品 再利用)





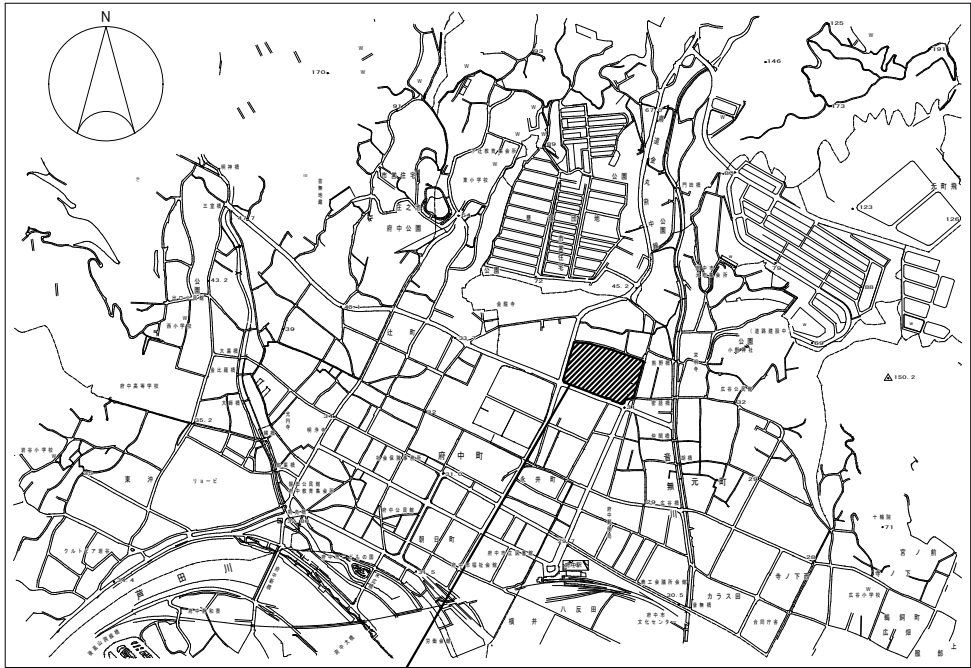
 —— 取外し部分を示す
 —— 撤去部分を示す



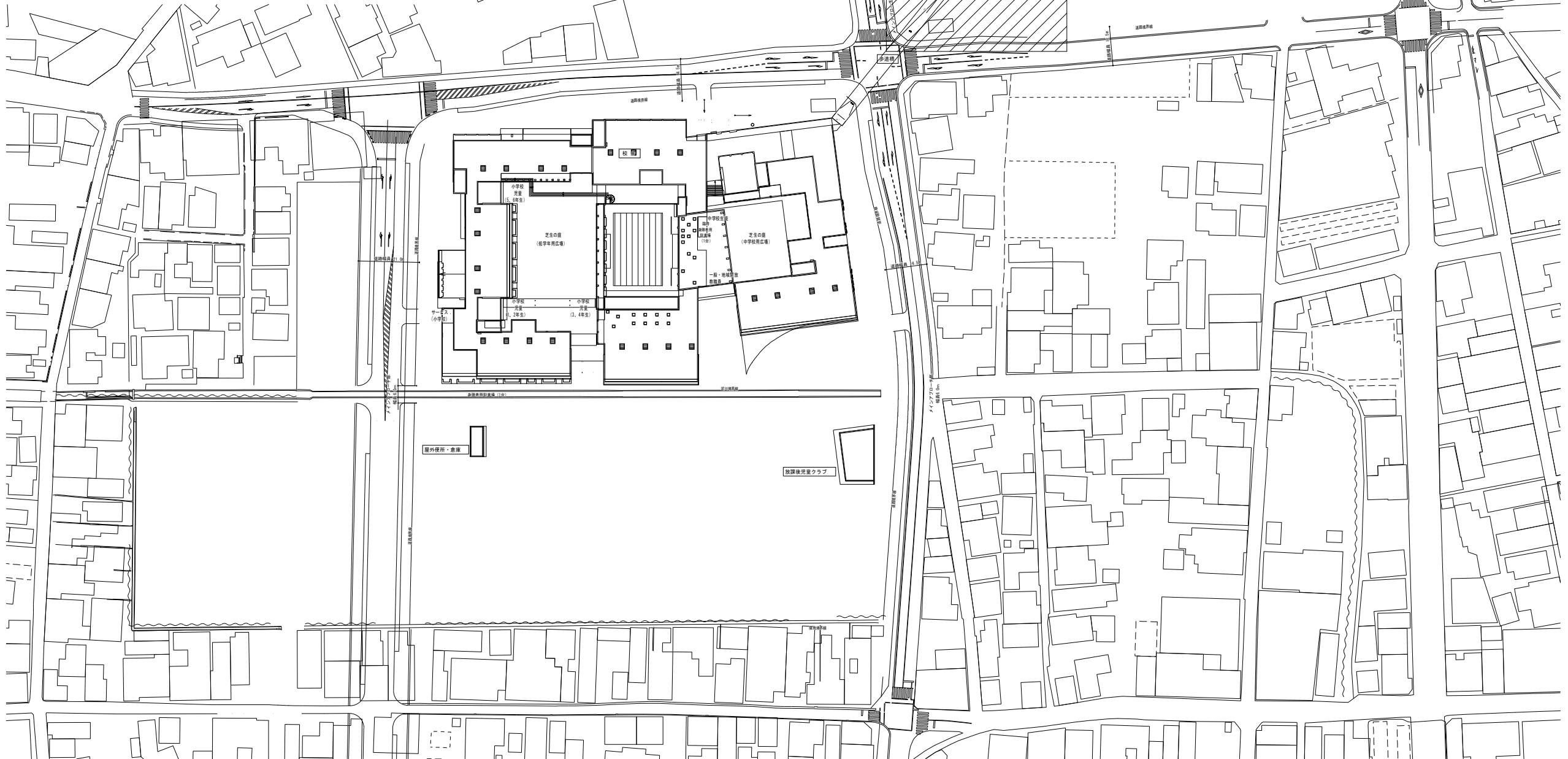


遮熱フィルムはNAN80S スリーエムジャパン株式会社（同等品）とする

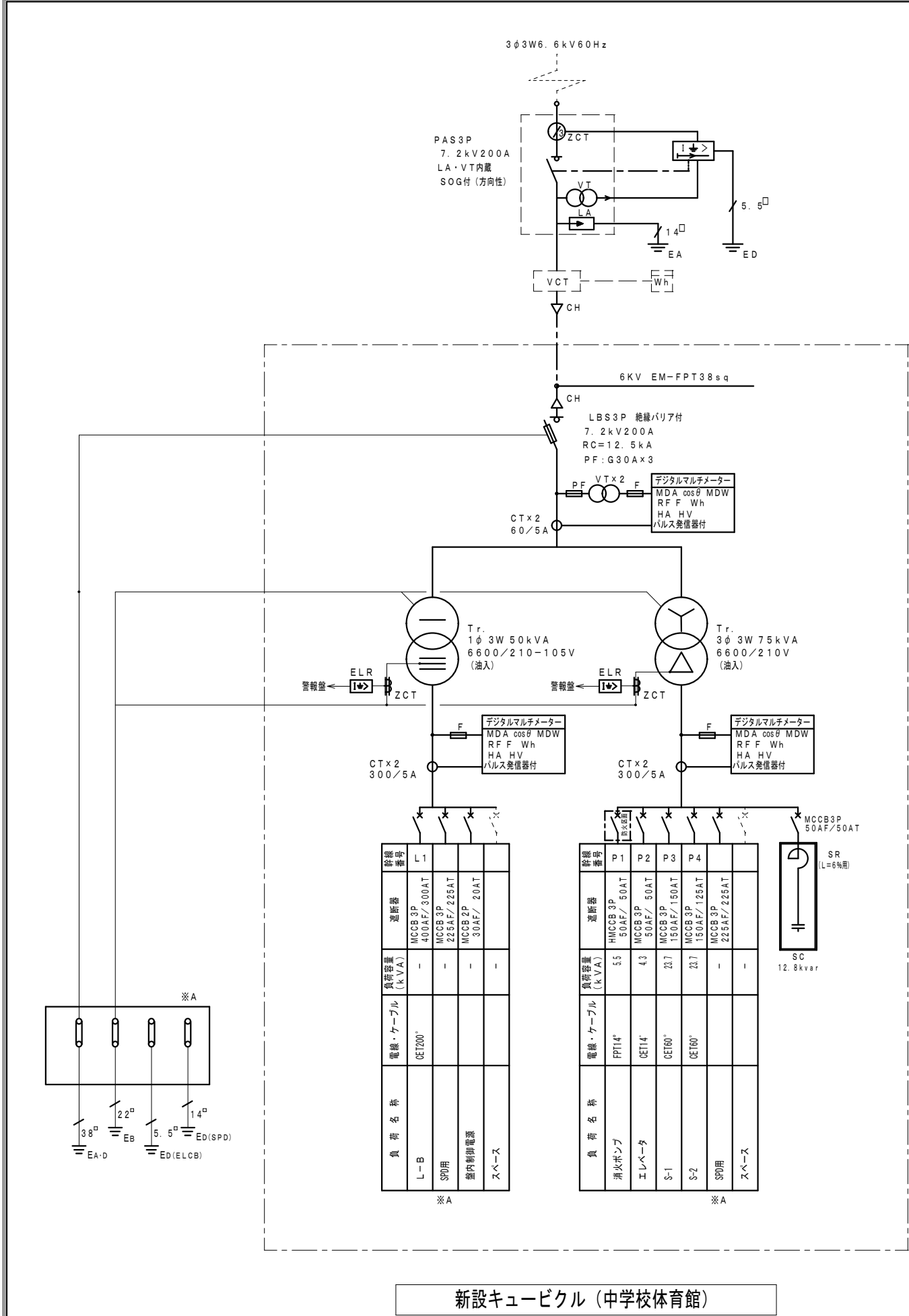
符号	数量	① AD	x 2	両袖片引きドア付きFIX窓（遮熱フィルム貼り 新設）
窓	図			
室名	体育館			
見込	120			
仕上	アルミ			
塗装				
硝子	複層ガラス T66+T66			
金物	標準金物一式			
符号	数量	② AD	x 2	両袖片引きドア付きFIX窓（遮熱フィルム貼り 新設）
窓	図			
室名	体育館			
見込	120			
仕上	アルミ			
塗装				
硝子	複層ガラス T66+T66			
金物	標準金物一式			
符号	数量	③ AD	x 7	両袖片引きドア付きFIX窓（遮熱フィルム貼り 新設）
窓	図			
室名	体育館			
見込	120			
仕上	アルミ			
塗装				
硝子	複層ガラス T66+T66			
金物	標準金物一式			
符号	数量	④ AD	x 1	片開きドア 新設
窓	図			
室名	体育館			
見込	120			
仕上	アルミ			
塗装				
硝子	複層ガラス T66+T66			
金物	標準金物一式			
符号	数量	⑤ AW	x 2	AW-3: 突出し窓 16連窓 AW-4: 突出し窓 13連窓
窓	図			
室名	体育館			
見込	70			
仕上	アルミ			
塗装				
硝子	FL8			
金物	電動オペレータ、標準金物一式			



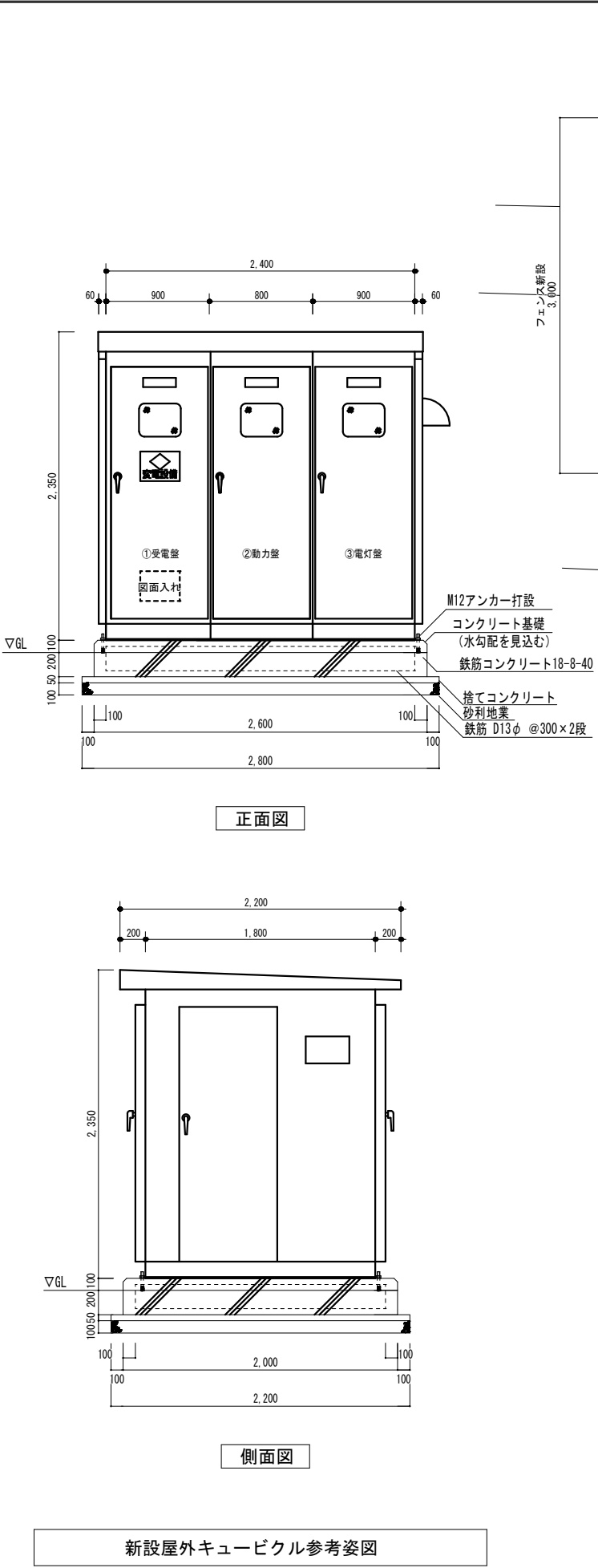
府中市立府中中学園
府中市元町576-1



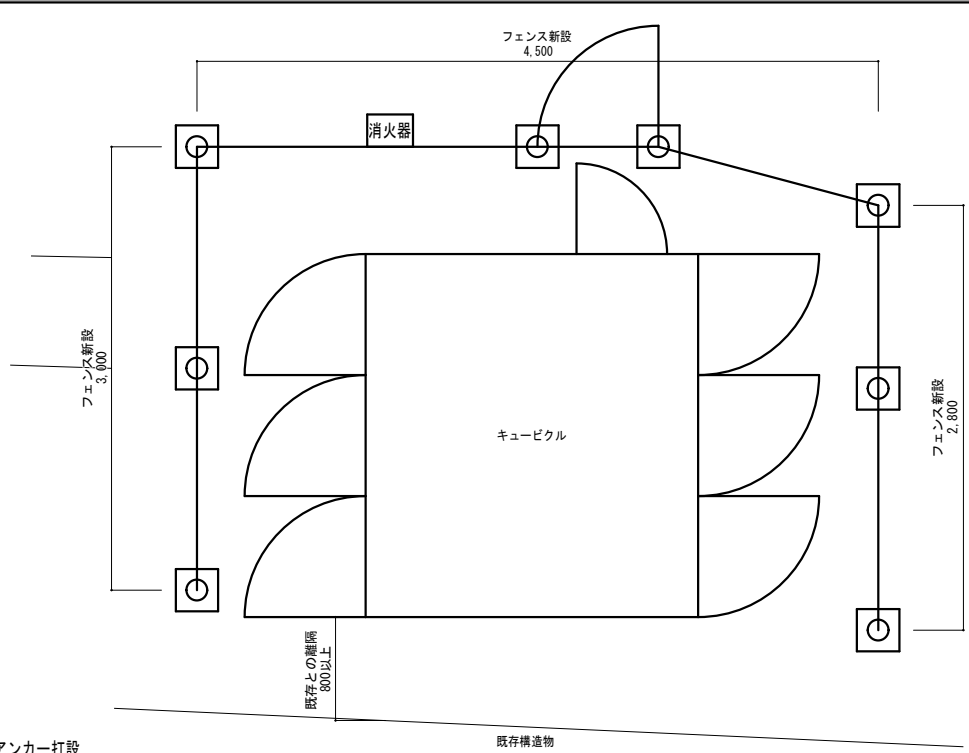
配置図



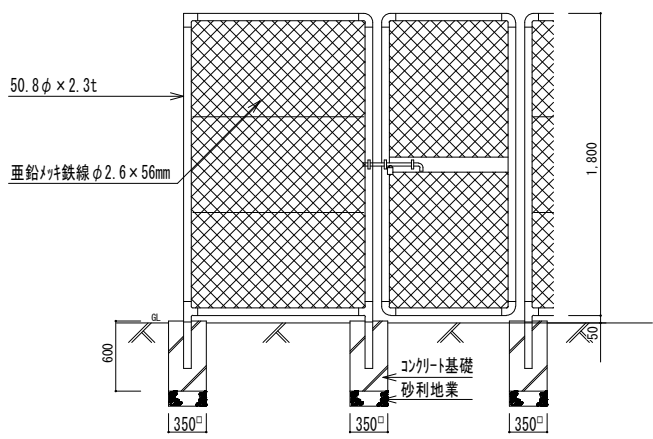
新設キュービクル（中学校体育館）



新設屋外キュービクル参考姿図

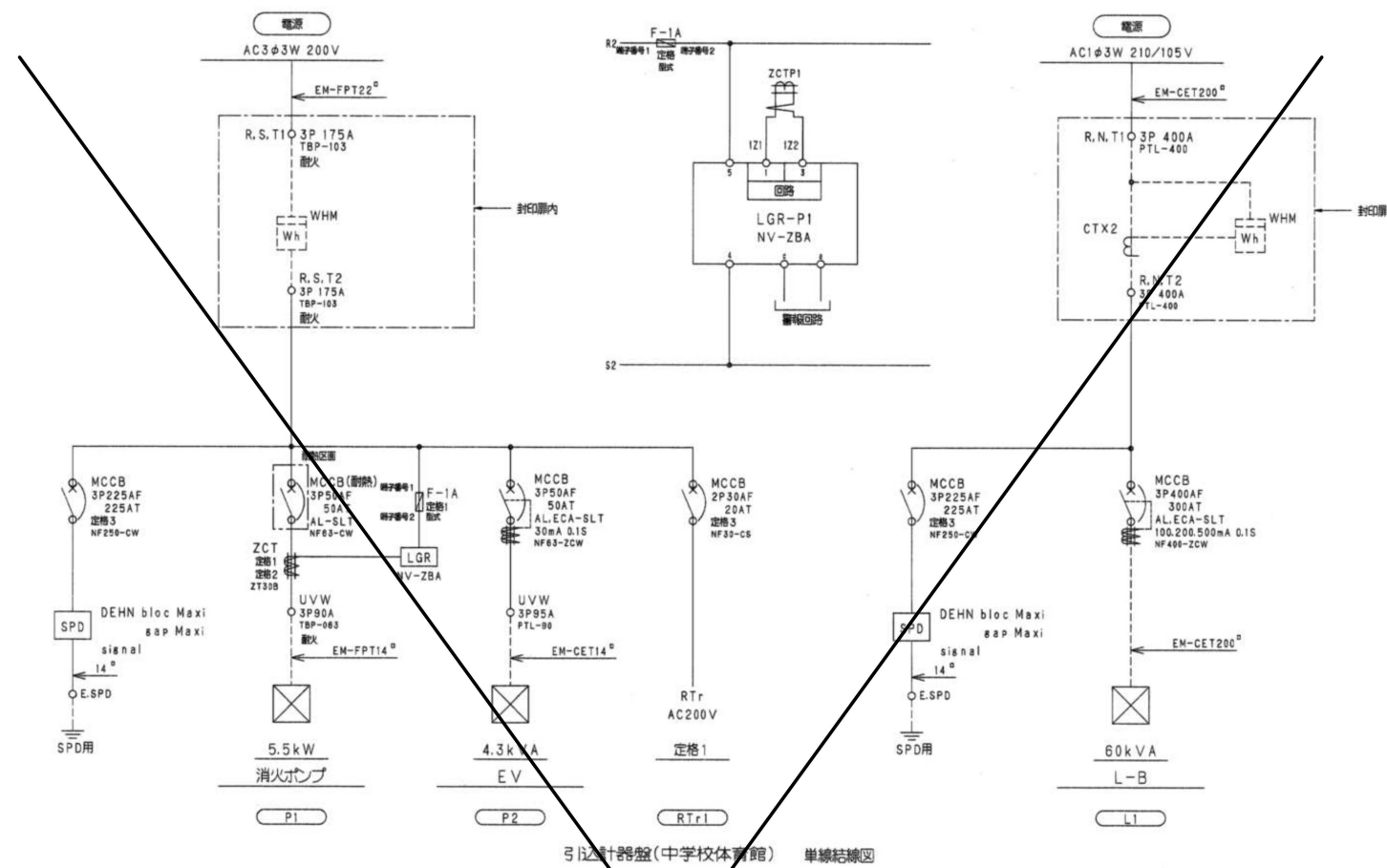


屋外型 高圧キュービクル平面図



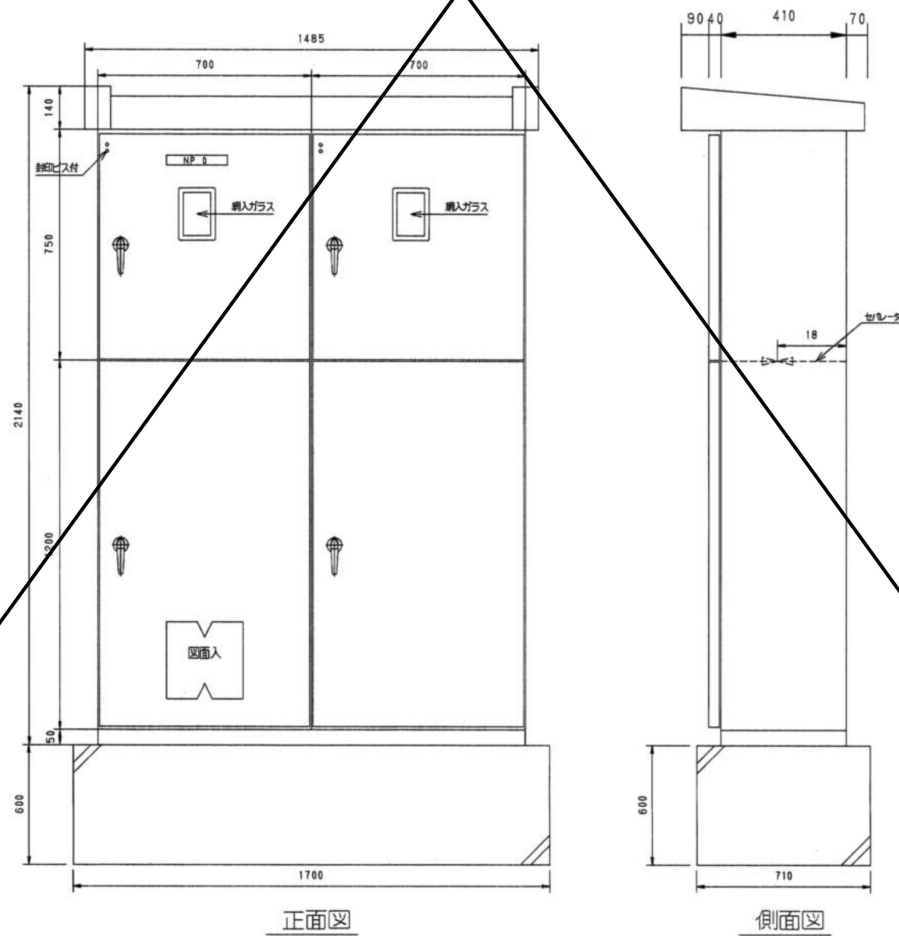
新設フェンス（参考）

組 枠	L-50×50×L1	
屋根板	2.3t	SPC
面 板	2.3t	SPC
扉 板	2.3t	SPC
内設板	2.3t	SPC
底 板	2.3t	SPC
チャンネルベース	100×50×5t	溶融亜鉛メッキ仕上げ
取 手	L型鍵付き	R-200
塗 装	メラミン焼付けメーカー標準色塗装	
備 考	耐震措置（特定の施設） 設置場所 地上 設計用標準水平震度1.0	
付 属 品	ディスプレイ棒：長短格	1本
	補修色	1缶
	LBS用電力予備ヒューズ	100%
	その他回路用ヒューズ	100%
	表示ランプグローブ 種類ごとに各実装数	
注 記	ABC粉末消火器10型 1台（屋外SUS製収納）が2付）含む。	
	・JISC4620に適合すること。	
	・製作図提出時には、耐震計算書、壁内温度上昇計算書、遮断協調曲線を添付すること。	
	・トランスはトランサナー2025変圧器とすること。	
	・変圧器には耐震ゴムを取付ること。	
	・その他の詳細については、承認図を提出の上、係員の指示に従い、製作する事とする。	
	・キュービクル内の換気扇はサーモによる発停とすること。	
	・キュービクル内で発報するブザー音については、設定によりON/OFF出来るようにすること。	
	・消火ポンプ用耐熱配線遮断器容量はポンプ制御盤に合わせること。	
	・「非常用電源専用受電設備」の標識を前面に設置すること。	
	・納入時付属される鍵を2個納入すること。	



引込計器盤(中学校体育館) 単線結線図

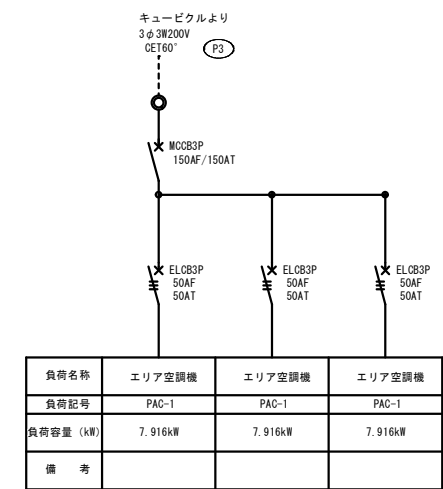
×は撤去を示す。



正面図

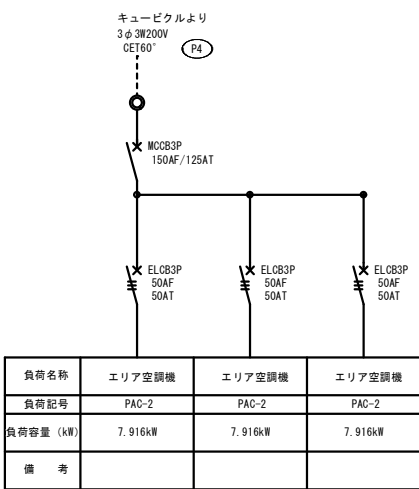
側面図

引込計器盤(中学校体育館)



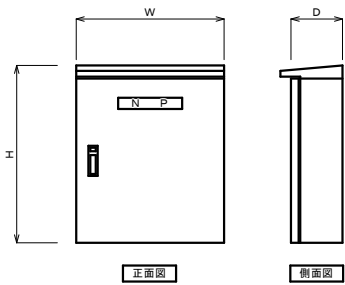
手元開閉器盤S-1 屋外防水壁掛型 SUS製 (参考寸法: 400W×400H×200D)

◎ ETS 5"
◎ ED ELB



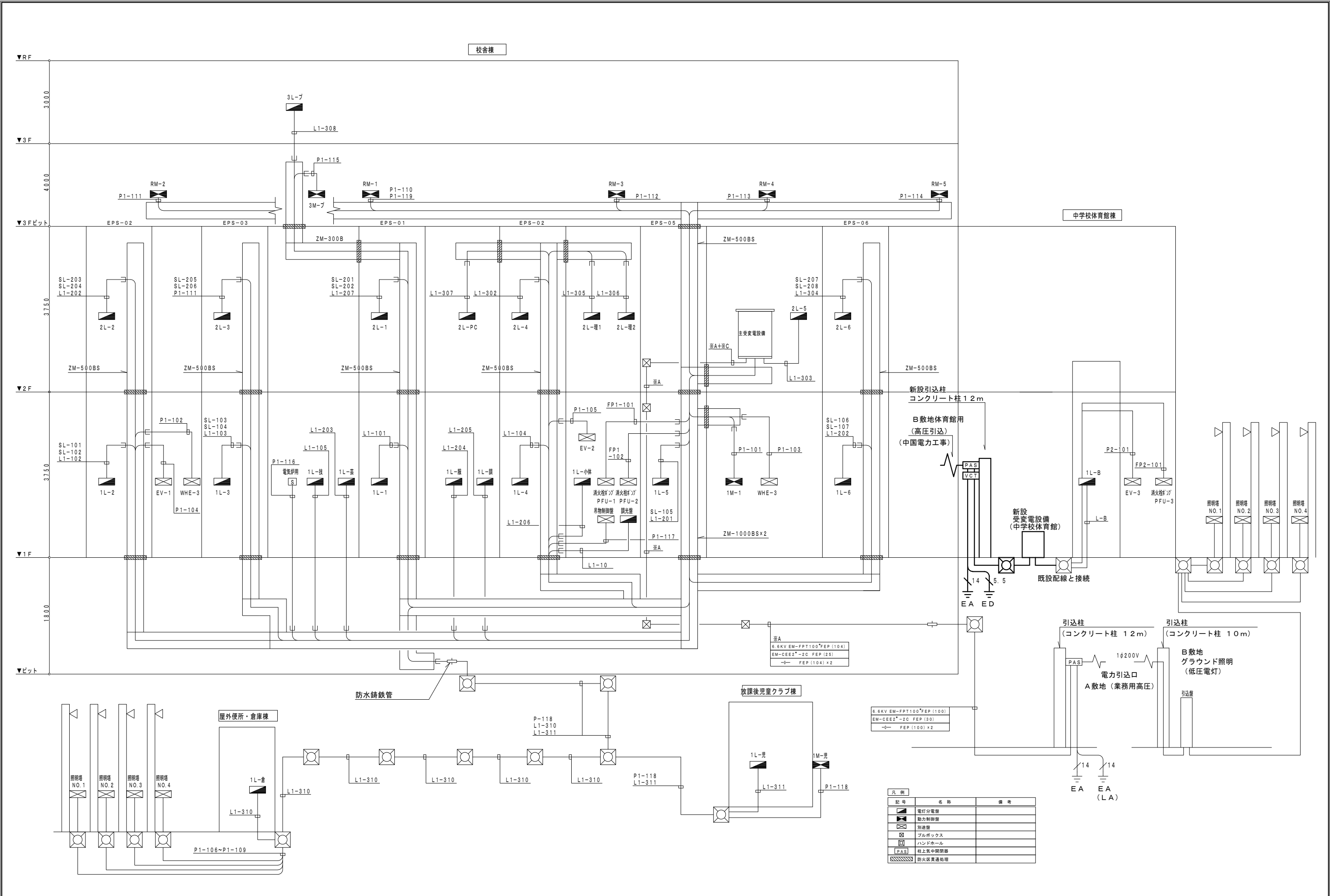
手元開閉器盤S-2 屋外防水壁掛型 SUS製 (参考寸法: 300W×400H×200D)

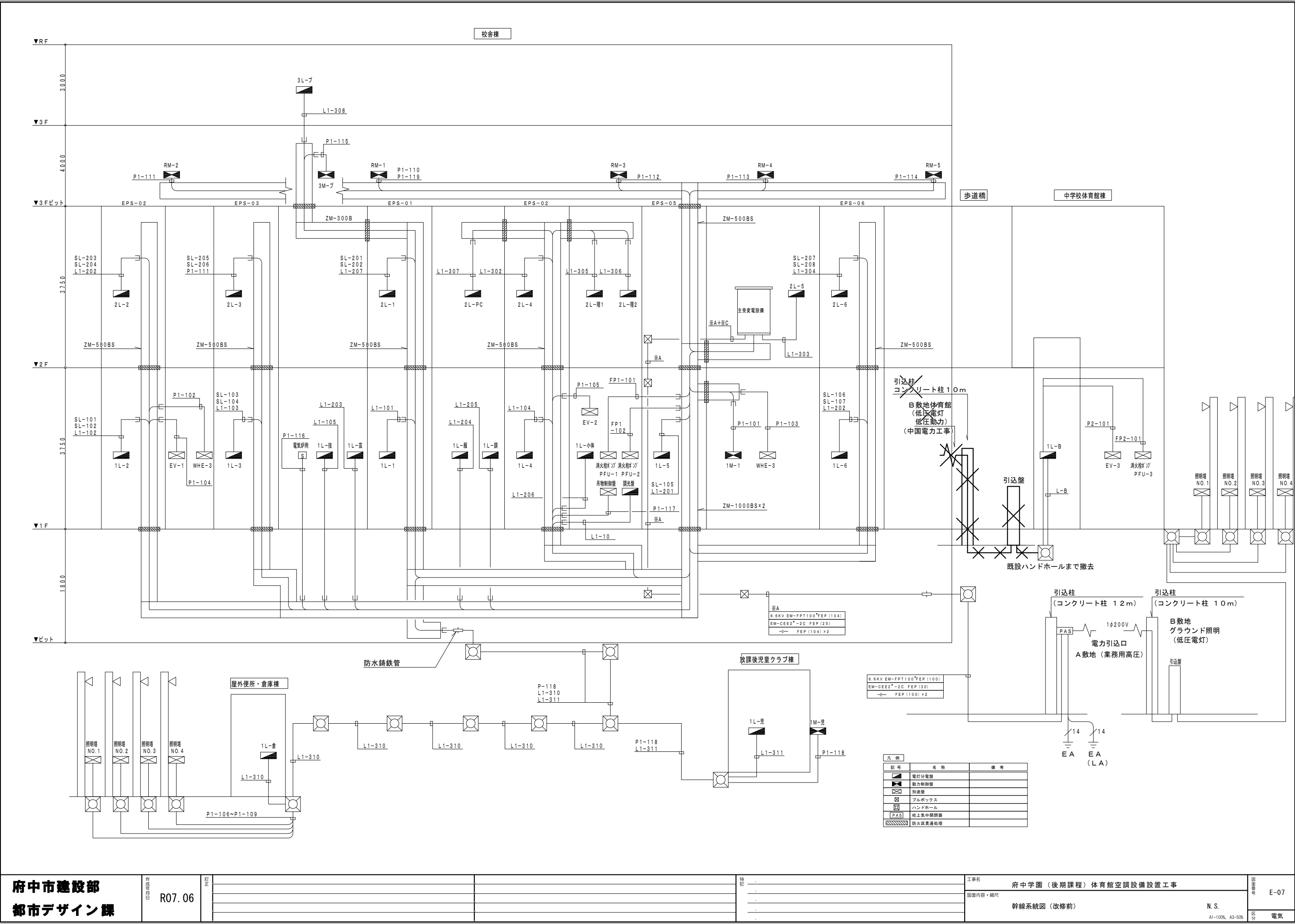
◎ ETS 5"
◎ ED ELB

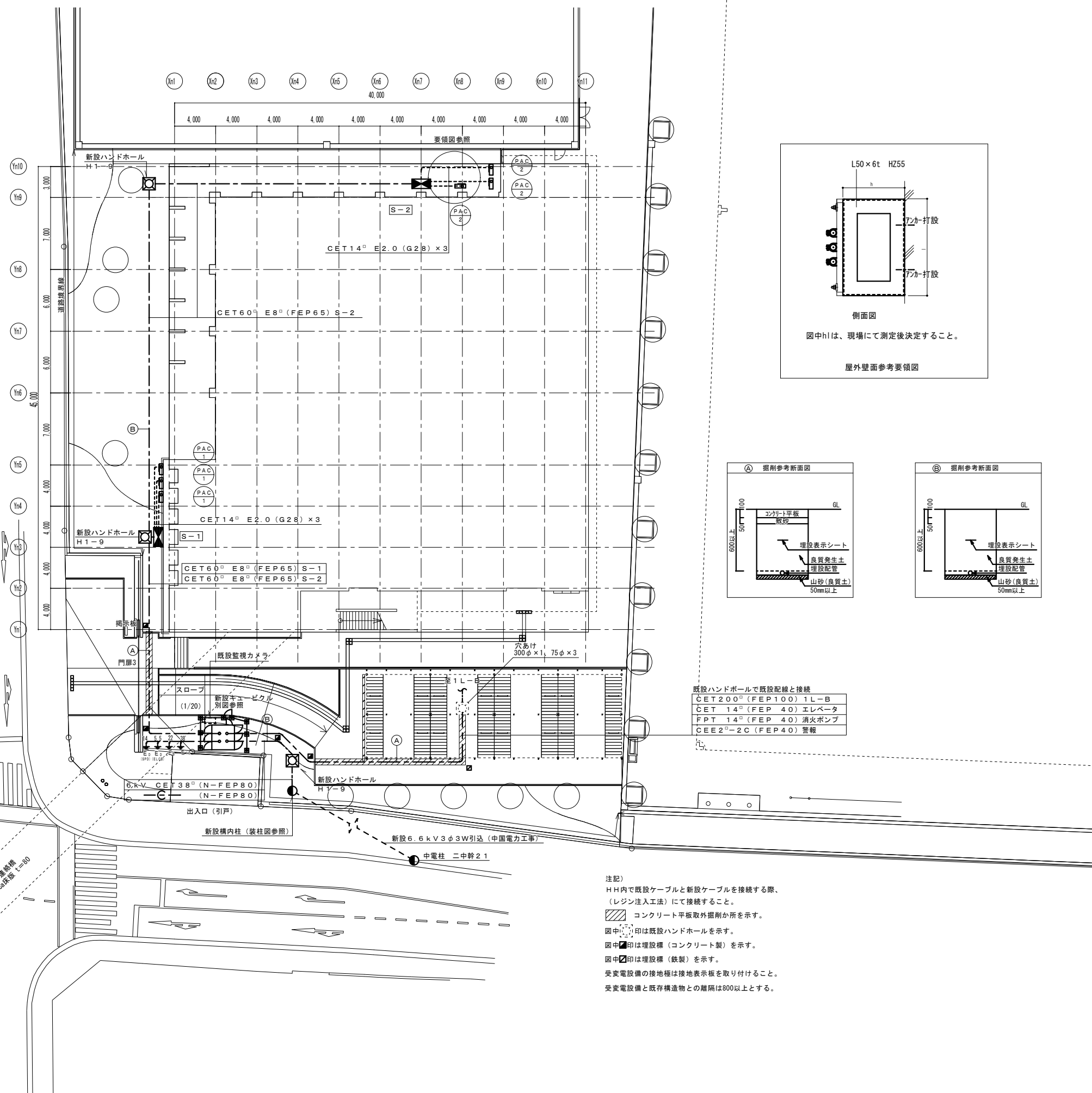
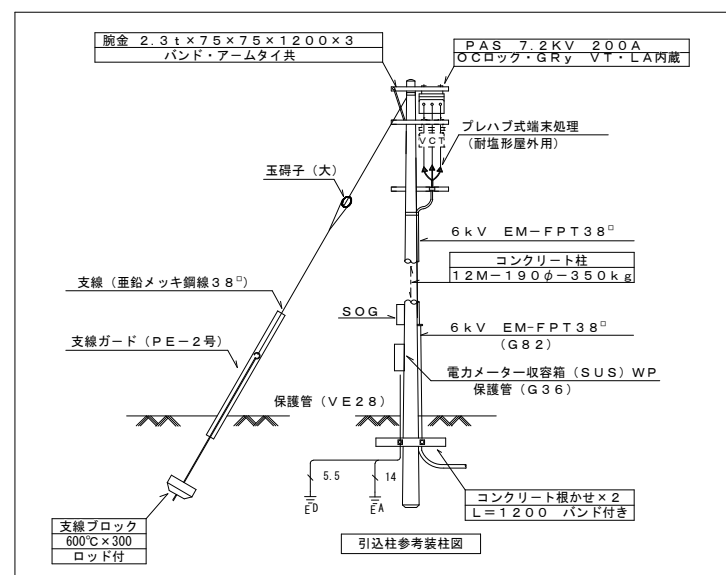
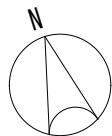


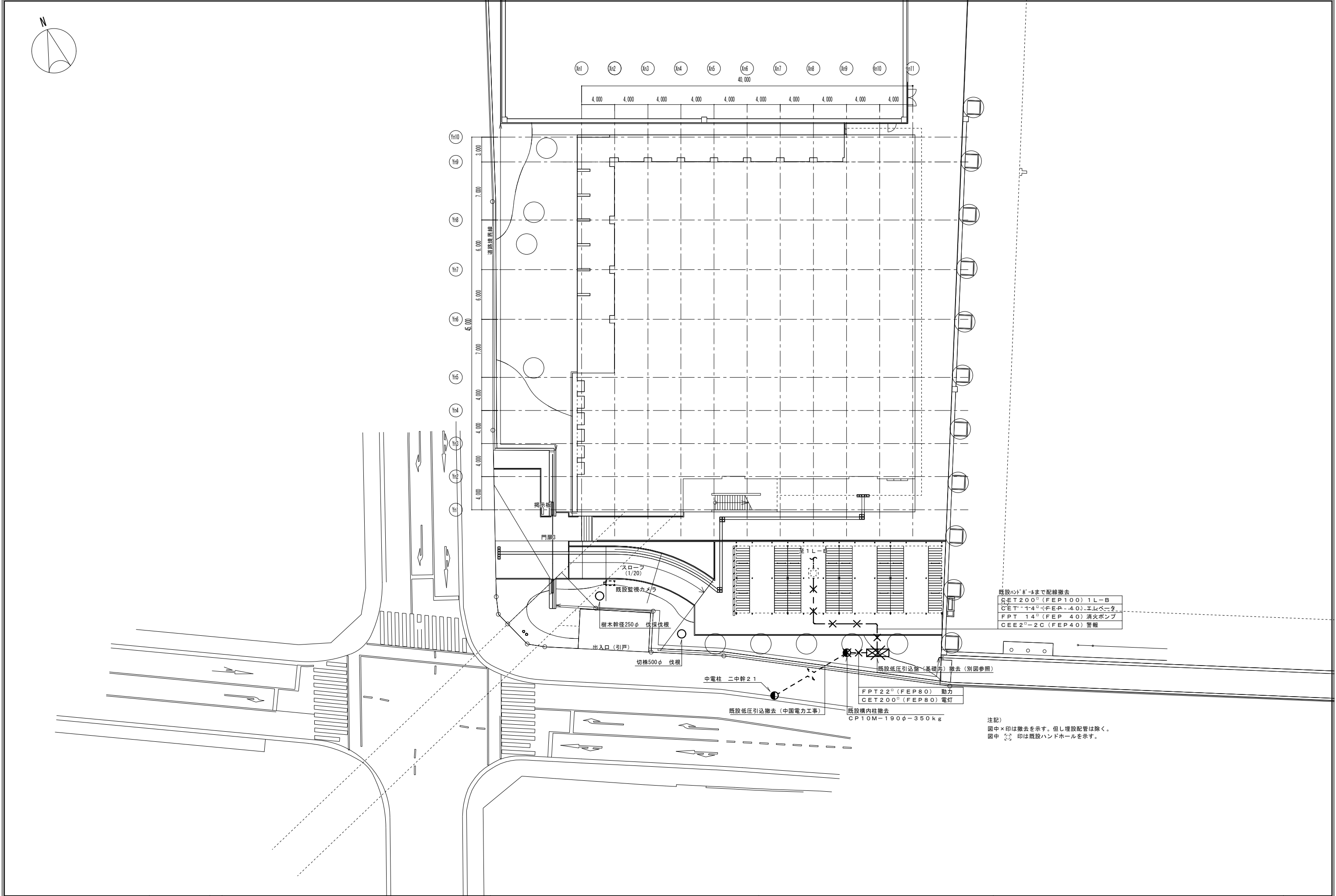
手元開閉器盤参考姿図

面 体	SUS304 1.2t以上
扉 板	SUS304 1.2t以上
把 手	平面回転ハンドル (R200)
螺 番	裏面 (SUS)
化粧板	鋼板 1.2t以上
塗 装	メラミン焼付 (色指定)
そ の 他	施工者銘板取付 結線図面ホルダー取付





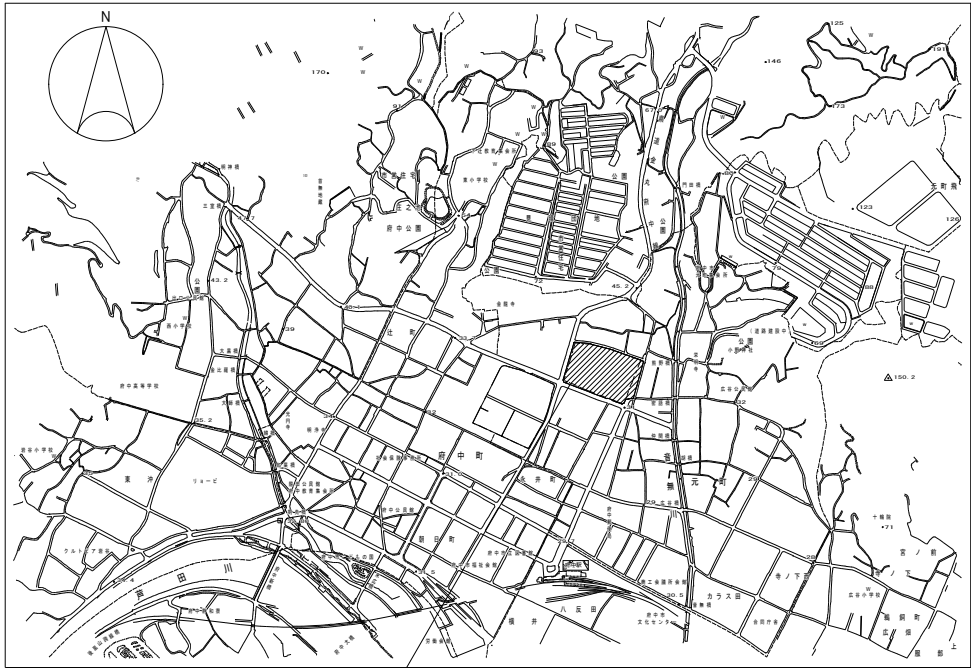




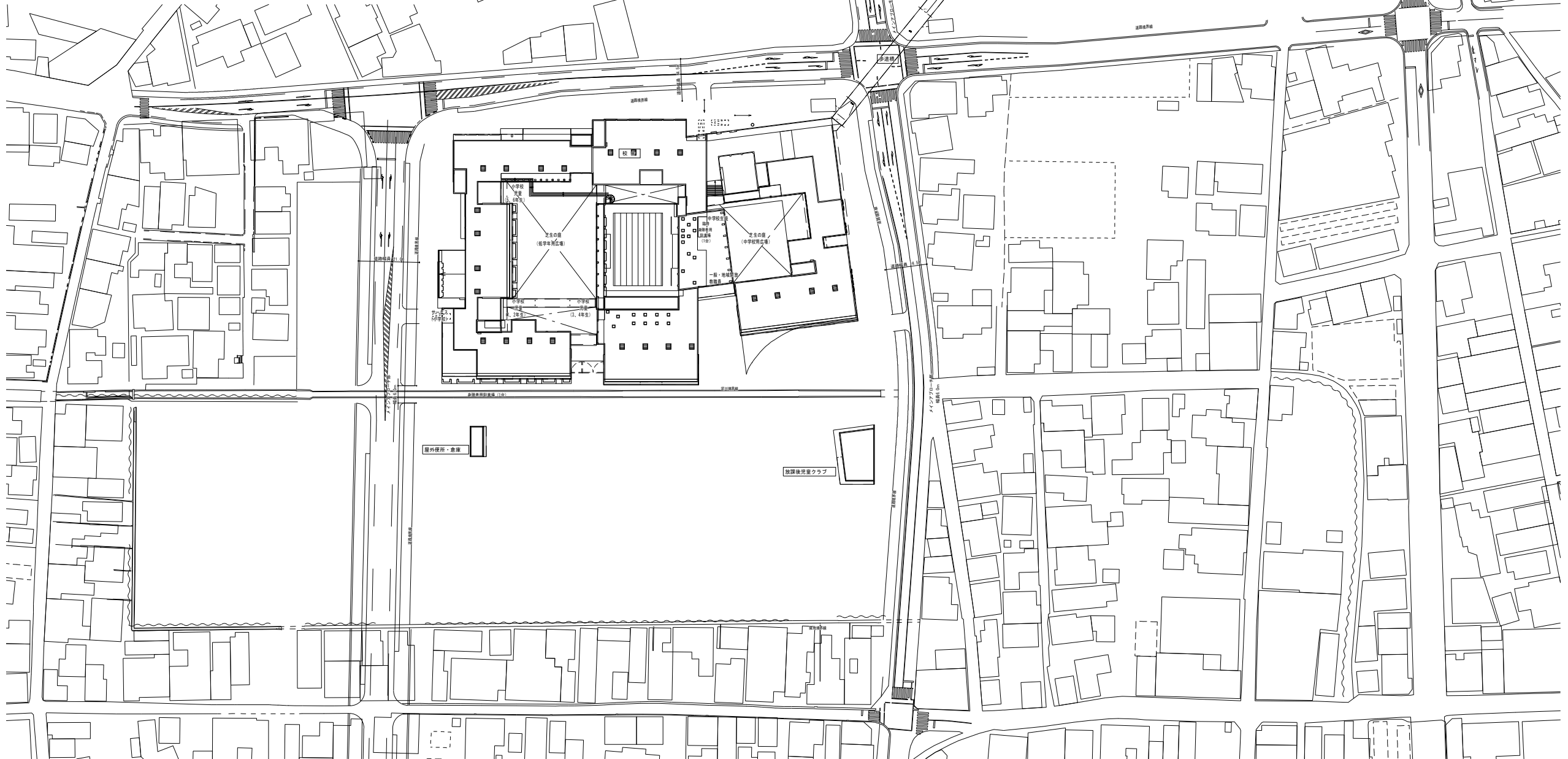
図面番号	E-09
区分	電気

[illegible]

[illegible]



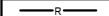
府中市立府中学園
府中市元町576-1

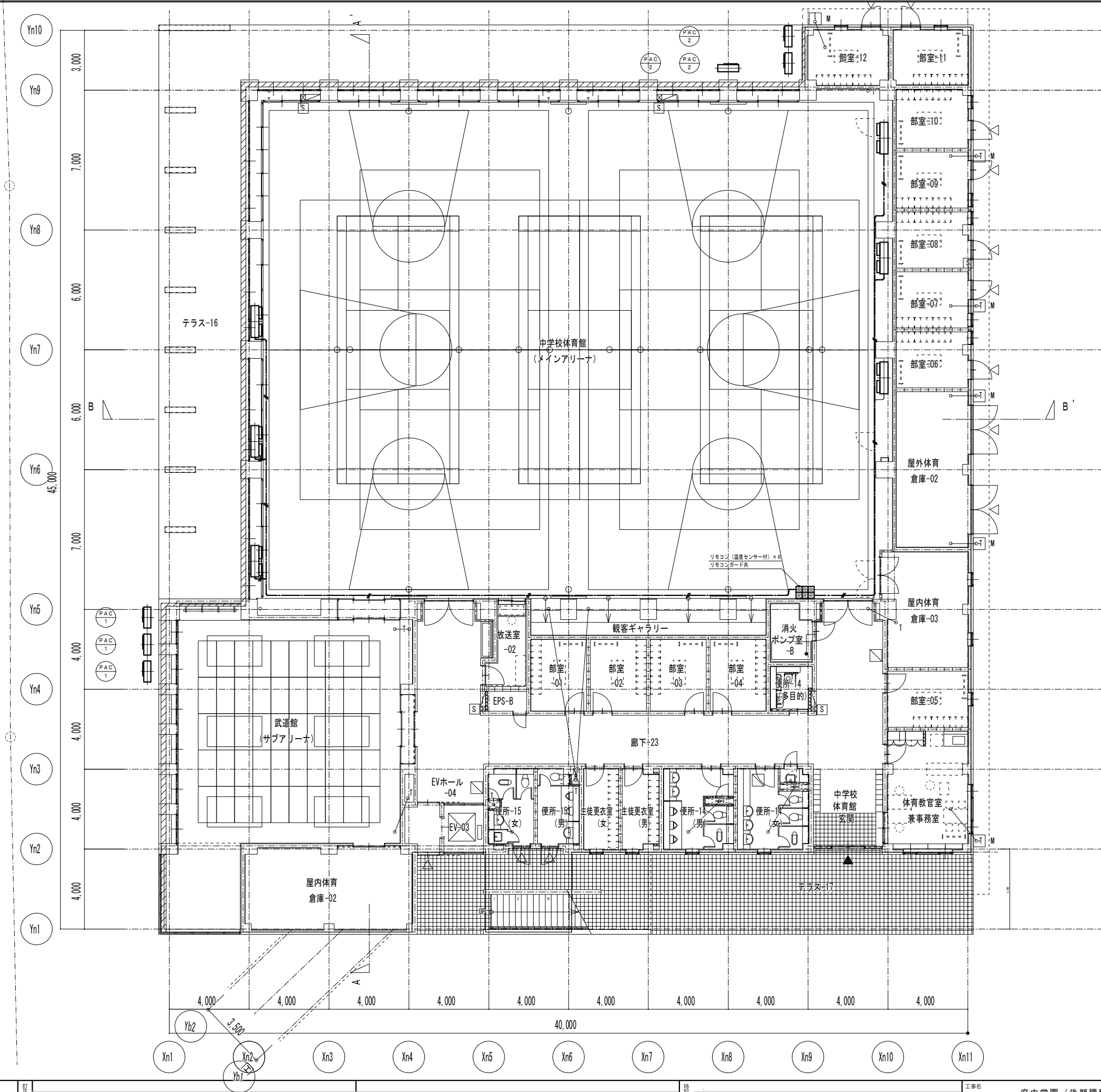


工事場所を示す。

配置図 S = 1 : 8 0 0

空 調 機 器 表						
機器番号	名 称	仕 様		電 気 容 量	台 数	設 置 場 所
PAC-1	空冷ヒートポンプ式 パッケージエアコン (インバーター式)	形 式 冷 媒 冷 房 能 力 暖 房 能 力 室外機基礎 付 属 品	天吊形 (シングル) R32 25.0 (13.7～28.0) kW 28.0 (10.1～32.3) kW 樹脂製架台100H ワイヤードリモコン、転倒防止金具、温度センサー、アクティブフィルター、 リモコンガード、ドレンアップメカ、室内機用架台100H	電 源(屋内) 単相200V 電 源(屋外) 3φ200V 圧 縮 機 6.00kW 送風機(屋内) 558W 送風機(屋外) 400W	3	メインアリーナ (西側)
PAC-2	空冷ヒートポンプ式 パッケージエアコン (インバーター式)	形 式 冷 媒 冷 房 能 力 暖 房 能 力 室外機基礎 付 属 品	天吊形 (シングル) R32 25.0 (13.7～28.0) kW 28.0 (10.1～32.3) kW 樹脂製架台100H ワイヤードリモコン、転倒防止金具、温度センサー、アクティブフィルター、 リモコンガード、防振吊金具	電 源(屋内) 単相200V 電 源(屋外) 3φ200V 圧 縮 機 6.00kW 送風機(屋内) 558W 送風機(屋外) 400W	3	メインアリーナ (東側)
1. 室内外機の渡り操作線及び二次側電源線は本工事とする。(冷媒管共巻きとする) 2. リモコンスイッチ取付及び配線は本工事とする。 3. 冷媒管の屋外露出はステンレスラッキング仕上。屋内露出は樹脂カバー仕上とする。 4. 天井内のドレン管は、GW+アルミガラスクロスとする。 5. パッケージエアコンの能力及び消費電力は、JIS B 8616に規定された定格条件による。 6. 屋上設置の室外機の樹脂製架台は、ゴムシート敷き10mmの上に設置のこと。 7. 室外機の転倒防止措置を行うこと。 8. 外壁穴明部には、防水処理を行うこと。 9. 室外機への一次側電源は電気工事とする。						

凡 例				
記 号	名 称	摘 要	仕 様	
	冷 媒 管	冷媒用被覆銅管 (保温付)	屋 内 ー 設 部	CUP 銅 管ー標準厚 20mm ガス管ー標準厚 20mm
	ド レ ン 管	硬 質 塩 化 ビ ニ ル 管	屋 内 ー 設 部	VP JIS K 6741-99
注) (1) 配管が防火区画等を貫通する場合は、建設省告示第1422号及び建築基準法施行令第129条の2の5に準じて処理を行う。 (冷媒配管の防火区画貫通部措置工法は、国土交通大臣の認定工法とする) (2) 令第112条第15項の規定により、管と防火区画の隙間は不燃材料で埋めること。 (3) 建築設備の支持構造部及び架結金物で腐食の恐れがある部分には、平12建告1388号に従い防食措置を講ずる。(令129条の2の4第2号) (4) 配管設備の構造は、平12建告1388号第4の規定に従う。(令129条の2の4第2号) (5) 冷媒管の防火区画貫通部は令第129条2の5 1項7号に基づき施工すること。 (6) 建築設備耐震施工指針 最新版により施工する。 (7) 石綿ビニル二層管は、建築基準法第38条に基づき大臣認定工法により施工する。				



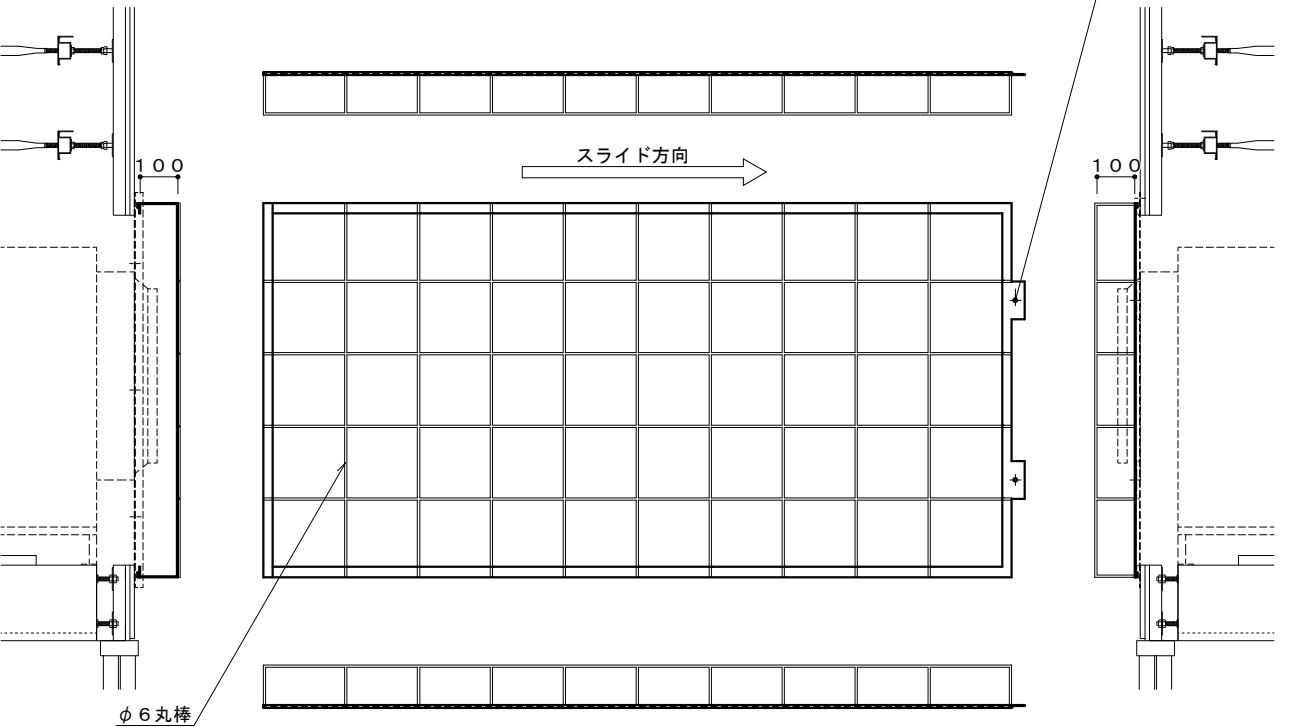
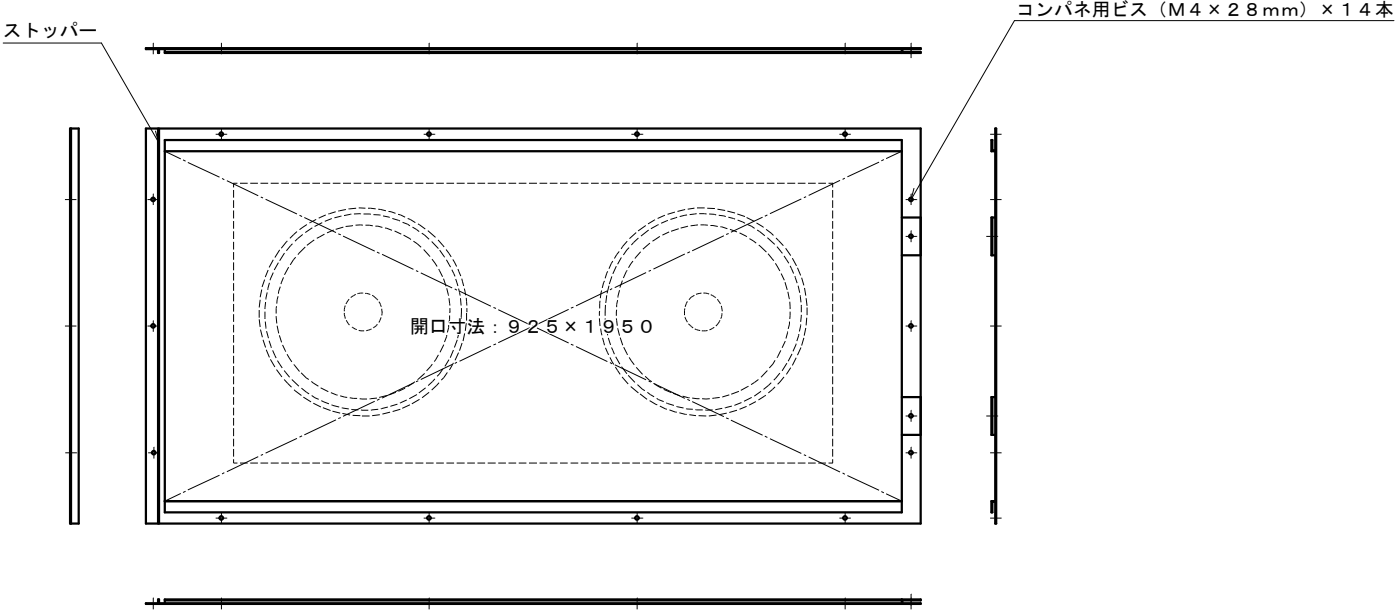
1 階平面図

凡例
EM-CEES 1.25⁵×2C

工事名	府中学園（後期課程）体育館空調設備設置工事
図面内容・縮尺	制御設備 1階平面図（メインアリーナ） 1/100 A1-100%, A3-50%

A-1

防球ガード（開口寸法925×1950）（参考）



A-2

防球ガード（開口寸法950×1950）（参考）

